

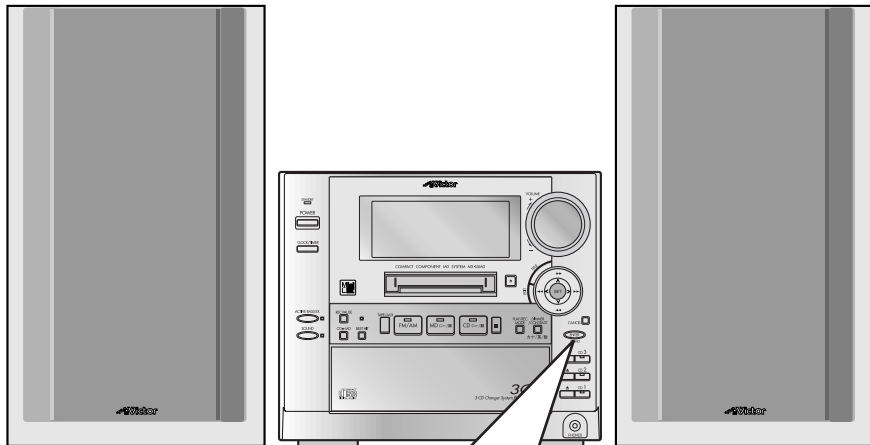


Victor

取扱説明書

コンパクトコンポーネント MD システム

型名 **MX-S5MD**



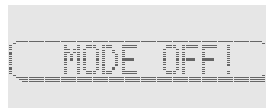
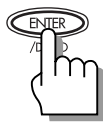
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が用意されています。電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。

解除するときは、デモ表示中に ENTER / DEMO ボタンを押し、「MODE OFF!」を表示させます。解除しないと、電源「切」にしたとき 2 分後にデモ表示に入ります。詳しくは、「デモ表示とスクリーン表示」

16 ページをご覧ください。



省エネ設計

省エネ回路により電源「切」時(待機時)
消費電力1.4W/86%削減
(パワーセービング時)

※当社従来機種MX-MD300比

お買い上げありがとうございます

- ・お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4 ~ 6 ページ)は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0312-001B

目次

はじめに

	ページ
安全上のご注意	4
ご使用になる前に	7
・付属品	7
・設置場所を決める	7
各部の名称	8
・本体	8
・ディスプレイ	9
・本体ランプ	9
・リモコン (RM-SMXS5 MD)	10
リモコンに乾電池を入れる	11
・リモコンの操作	11
接 続	12
・アンテナの接続	12
・スピーカーの接続	13
・他の機器の接続	13
・電源プラグの接続	13
電源「入」/「切」について	14
デモ表示とスクリーン表示	16
バックライトの明るさを変える	18
コントラストを変える	19
時計を合わせる	20

基本操作

音量を変える / 低音を強調する	21
サウンドモードを変える	22
サウンドモードを登録する	23

ラジオを聞く

ラジオを聞く	24
放送局を記憶させる (エリアガイド機能)	26
放送局を選んで記憶する (本体)	27
放送局を選んで記憶する (リモコン)	28

CD を聞く

CD を入れる	29
CD の連続演奏 (基本操作)	30
CD のプログラム演奏 (本体)	32
CD のプログラム演奏 (リモコン)	34
CD のランダム演奏	35
CD のリピート演奏	36
チャイルドロック機能	37

MD を聞く

MD を聞く	38
MD のプログラム演奏	40
MD のランダム演奏	42
MD のリピート演奏	43

録音をする

録音をする前に	44
CD シンクロ録音 (CD から録音)	46
・ 演奏中の曲だけを録音する (1 曲録音)	46
ベストヒット録音 (CD から録音)	47
録音をする (REC PAUSE を使った録音)	48
ステレオ録音をする	50
サウンドシンクロ録音をする (テープ/AUX からの録音)	52
モノラル (長時間) 録音をする (ラジオから録音)	54

MD を編集する

MD 編集機能の紹介	56
曲を分ける (DIVIDE)	58
曲をつなげる (JOIN)	60
曲を移動する (MOVE)	62
曲を消す (ERASE)	64
全曲消す (ALL ERASE)	66
タイトルをつける (本体)	68
タイトルをつける (リモコン)	71
・ リモコンタイトル入力文字対応表	73

タイマー

タイマー	74
・ タイマーが重なったときは	74
SLEEP タイマー (おやすみタイマー)	75
DAILY タイマー (目覚ましタイマー)	76
REC タイマー (録音タイマー)	79

知っておいてほしいこと

接続した他の機器の音を聞く	82
ディスプレイモードのバックアップ	83
メッセージの登録	84
AM エリアガイド表	86
MD について	88
デジタル録音のきまり (SCMS)	89
MD のメッセージ	90
MD の制約について	91
故障かな?と思う前に	92
保証とアフターサービス	93
ピクチャーサービス窓口案内	94
主な仕様	96
CD の取り扱い	98
MD の取り扱い	98
機能索引	99

安全上のご注意

はじめにお読みください

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示



電源プラグを抜く



警告

異常時の注意

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。



電源プラグを抜く

- ・ 煙が出ている、へんなにおいがするなど異常のとき
- ・ 内部に水や金属物が入ってしまったとき
- ・ 落としたり、キャビネットが破損したとき
- ・ 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

電源コードについて

電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない



- ・ 接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ たこ足配線も、コードが熱をもち危険ですのでしないでください。

電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物をのせない



- ・ コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ・ 芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使用しない。また金属物を近づけたりしない



- ・ 電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- ・ 半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。

警告

ご使用について

電源は交流 AC 100Vを使う



- ・ この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車や船舶などの直流(DC)電源に直接つないだり、指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物をおかない



- ・ 液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属部を伝わり、火災や感電の原因となります。

機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない



- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 特にお子様にはご注意ください。

ネジをはずしたり、分解、改造したりしない



- ・ 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- ・ 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

分解禁止

水をかけたりぬらしたりしない



水ぬれ禁止

- ・ 機器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらす(つける、かける、こぼす)などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。
- ・ 万一、内部に水が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

ぬれた手でさわらない



ぬれ手禁止

風呂、シャワー室では使用しない



- ・ 風呂場やシャワー室では使用しないでください。漏電によって火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器の金属部、電源プラグに触れない



接触禁止

- ・ 誘導雷により、感電の恐れがあります。

設置について

本機の置き方は



- ・ あお向け、横倒し、逆さま、通風孔をふさいだり、風通しの悪い狭い所、などに設置すると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- ・ 機器は壁から10 cm以上、天面から10 cm以上、両側は1 cm以上の間隔をあけてください。間隔をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

リモコンの乾電池について

乾電池は正しく取り扱う



- ・ 乾電池は、充電しないでください。また極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)を間違えて入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となります。
- ・ 万一、液がもれたときは、電池ケースに付いた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・ また、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意(つづき) はじめにお読みください

⚠️ 注意

電源コードについて

電源プラグの抜き差しはプラグを持つ



- ・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ・感電する恐れがあります。

ぬれ手禁止

熱器具に近づけない



- ・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

設置・接続について

湯煙や湯気の当たるところや湿気・ほこりの多いところに置かない



- ・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
- ・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

機器の上に大きいものや重いものは乗せない



- ・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かない



- ・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

接続の前に接続する全ての機器の電源を「切」にしておく(電源プラグをコンセントから抜いておく)



- ・電源が「入」の状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

ご使用について

はじめから音量を上げすぎない



- ・突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- ・電源を切る前に本機の音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



- ・旅行などで長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



- ・電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

ご使用になる前に



音のエチケット

ステレオを聞くときのエチケット

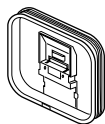
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

はじめに

付属品

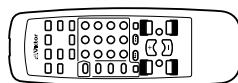
お使いになる前に付属品をお確かめください。



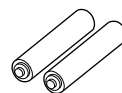
AM ループアンテナ
(1個)



FM 簡易型アンテナ
(1本)



リモコン
(RM-SMXS5MD)
(1個)



単3形乾電池
(2本)
(リモコン動作確認用)

設置場所を決める

本機を安全に末永くご愛用いただくために、次のような場所はさけて設置してください。

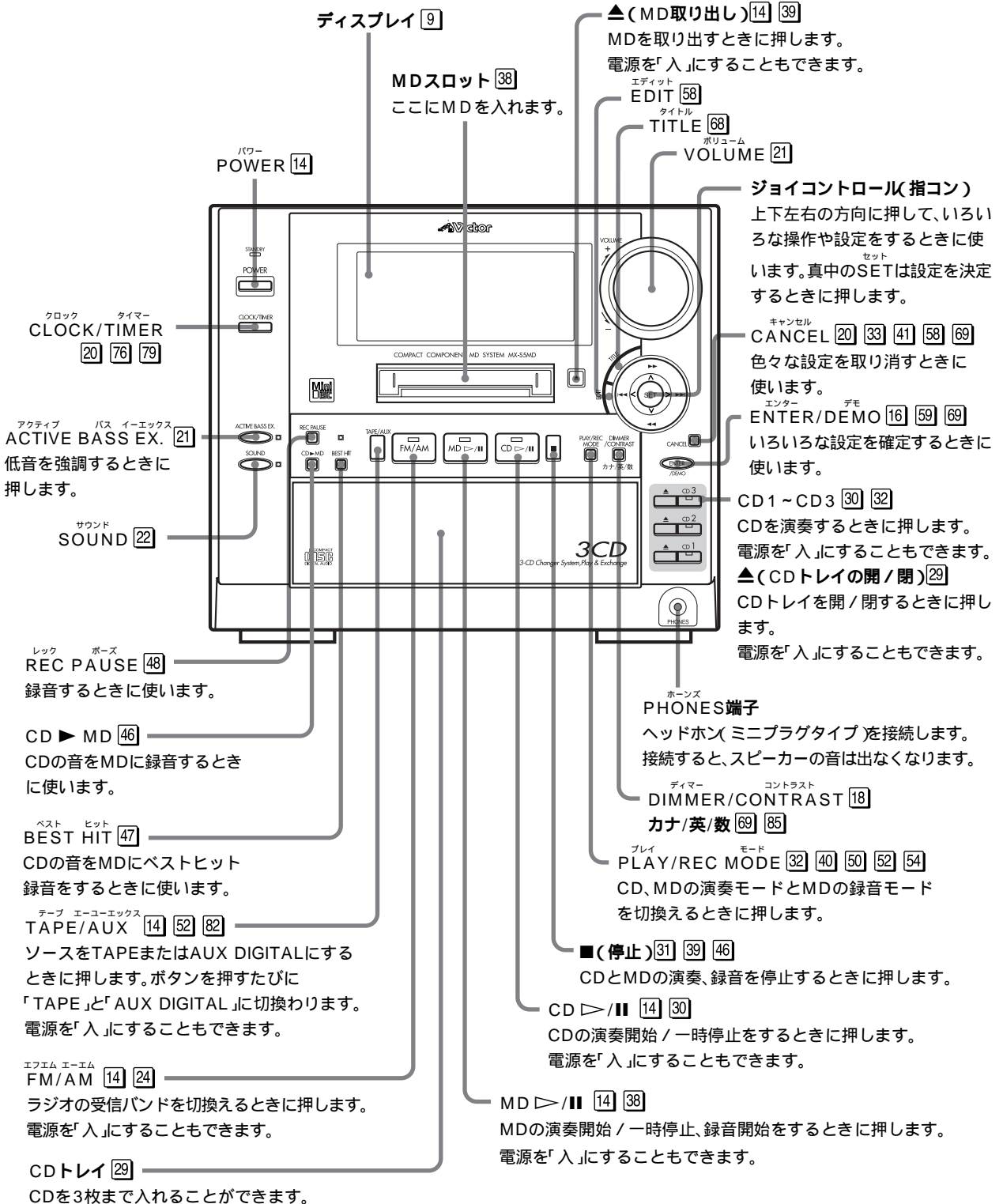
禁止事項一覧

- 通風孔がふさがれるような風通しの悪い狭い場所
- ヒーターやストーブなど熱器具の近く
- 直射日光の当たるところ
- 5 から 35 の範囲を超えるところ
- 風呂場
- 調理台や加湿器の近くなど湯煙や湯気が当たる場所
- 湿気やほこりの多いところ
- バランスの悪い不安定な場所
- じゅうたんや布団の上
- テレビやパソコンなどのOA機器のすぐそば

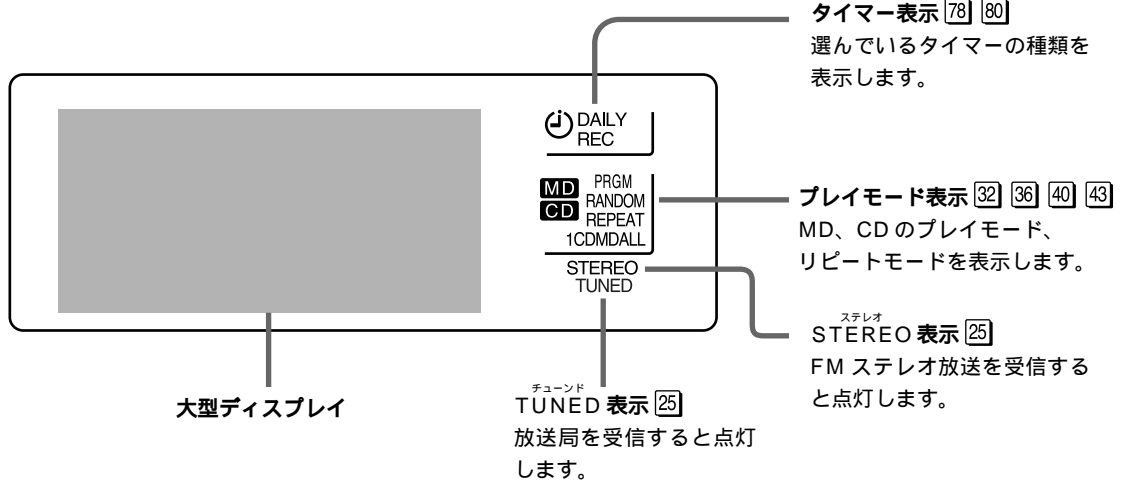
各部の名称

□内の数字のページに説明があります。

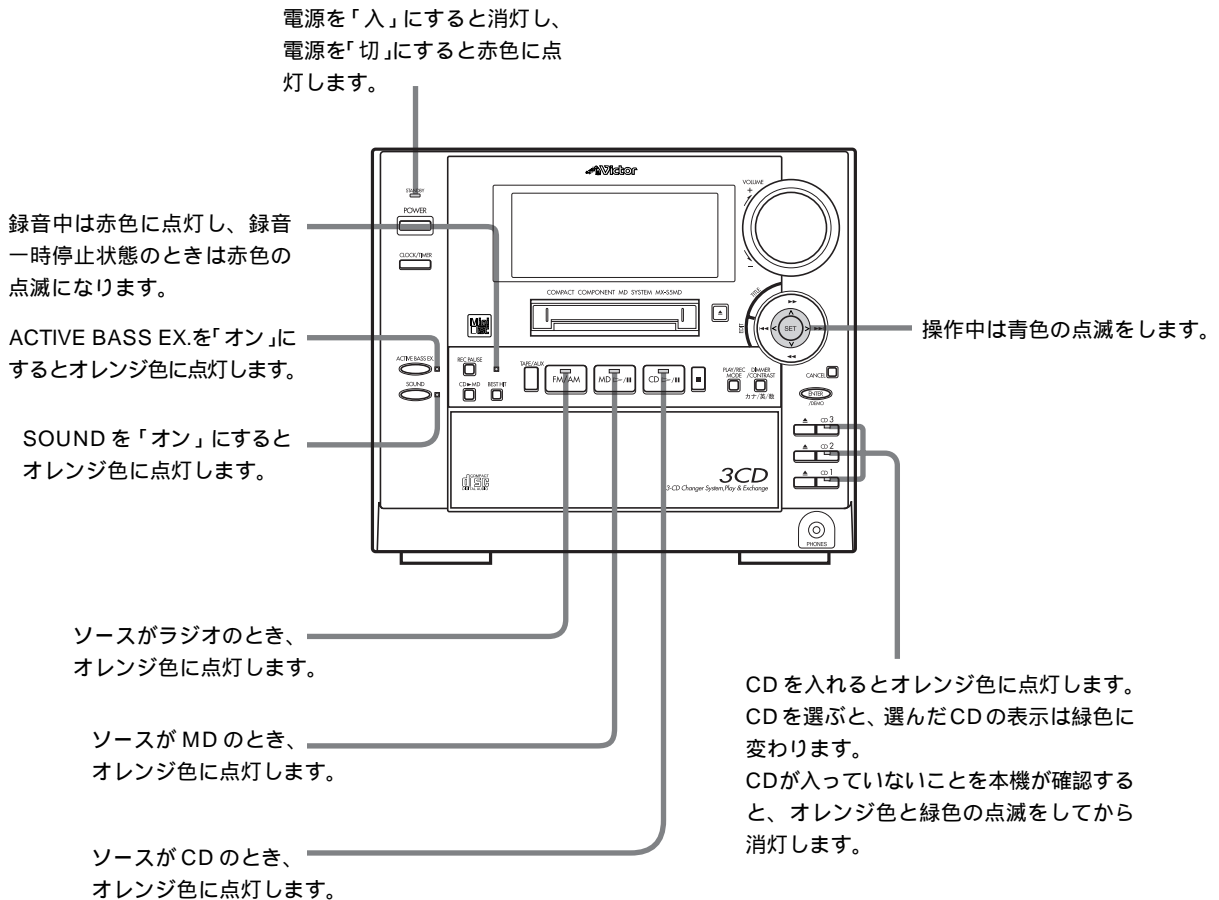
本体



ディスプレイ

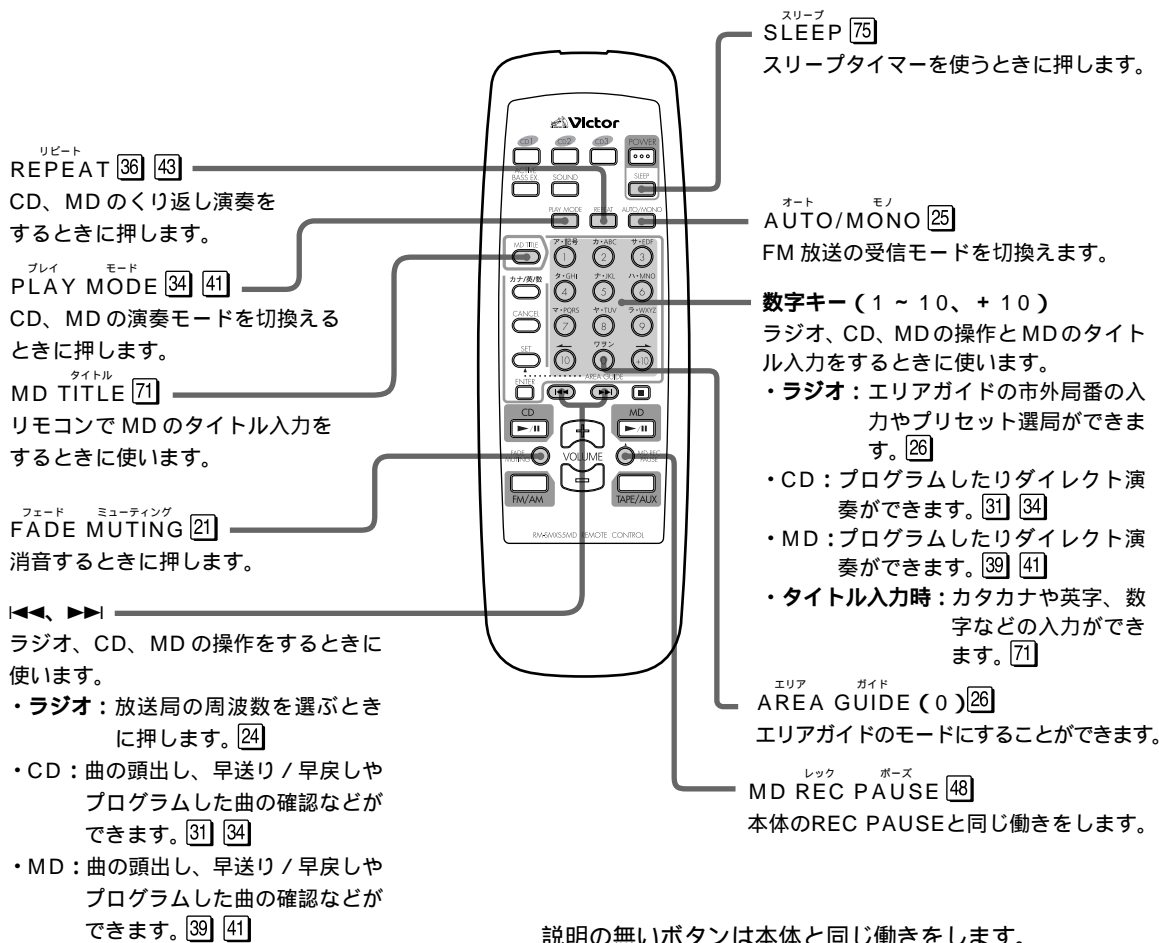


本体ランプ



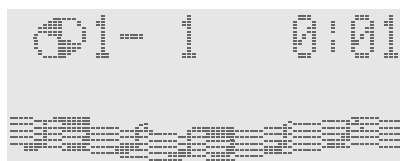
各部の名称 (つづき)

リモコン(RM-SMXS5MD)

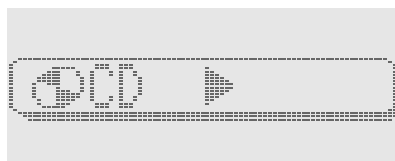


リモコンを使って操作すると

リモコンのボタンを押すと本体ディスプレイの表示が大きくなるパノラマ表示をします。パノラマ表示は、数秒後に通常表示に戻ります。



通常表示



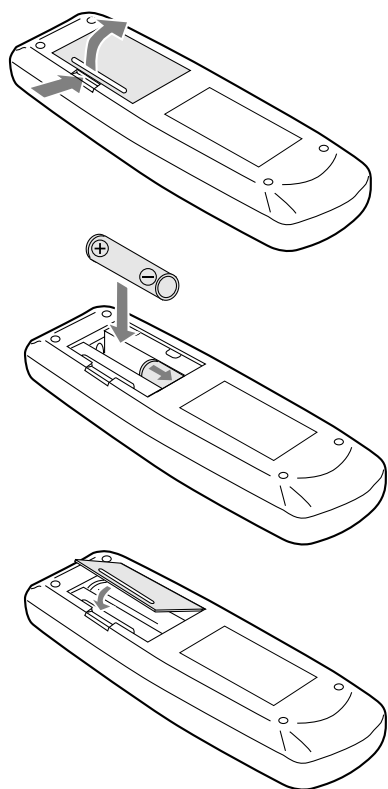
パノラマ表示

- ・ 本体のFM/AM、MD▷/■、CD▷/■、TITLE、EDIT ボタンを押したときも、パノラマ表示になります。

リモコンに乾電池を入れる

付属の乾電池を入れます。

はじめに



1 裏ボタンをはずす

2 乾電池を入れる

単3形乾電池2本を入れます。

リモコン内部の表示に合わせて、極性(+)、(-)を正しく入れます。

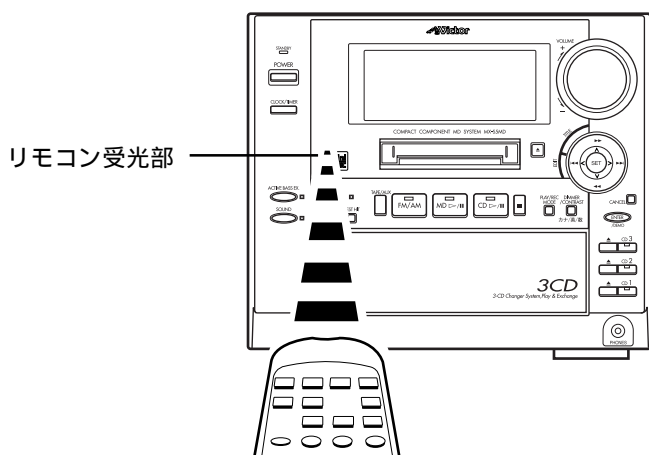
- 付属の電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。

3 裏ボタンをしめる

矢印の方向に戻します。

リモコンの操作

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作します。斜めから使用したり、リモコン受光部との間に障害物等があると信号が届かない場合があります。

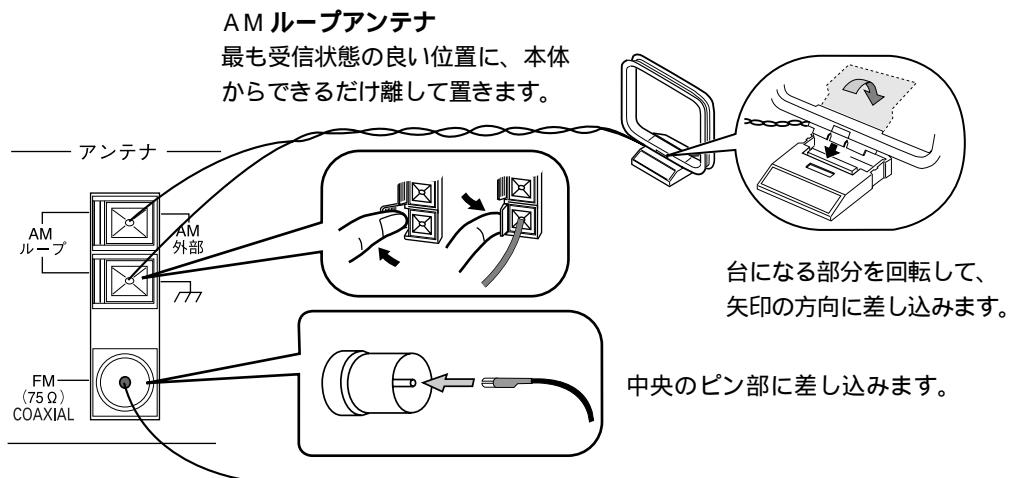


- 操作範囲が狭くなってきたり、本体に近づけないと操作できなくなってきた場合は、乾電池を交換してください。交換の際は、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池(アルカリ乾電池など)と交換してください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 指定以外の電池(充電式電池など)は使用しないでください。

アンテナの接続

屋内アンテナ(付属のアンテナ)の接続

ラジオを聞くためにアンテナを接続します。



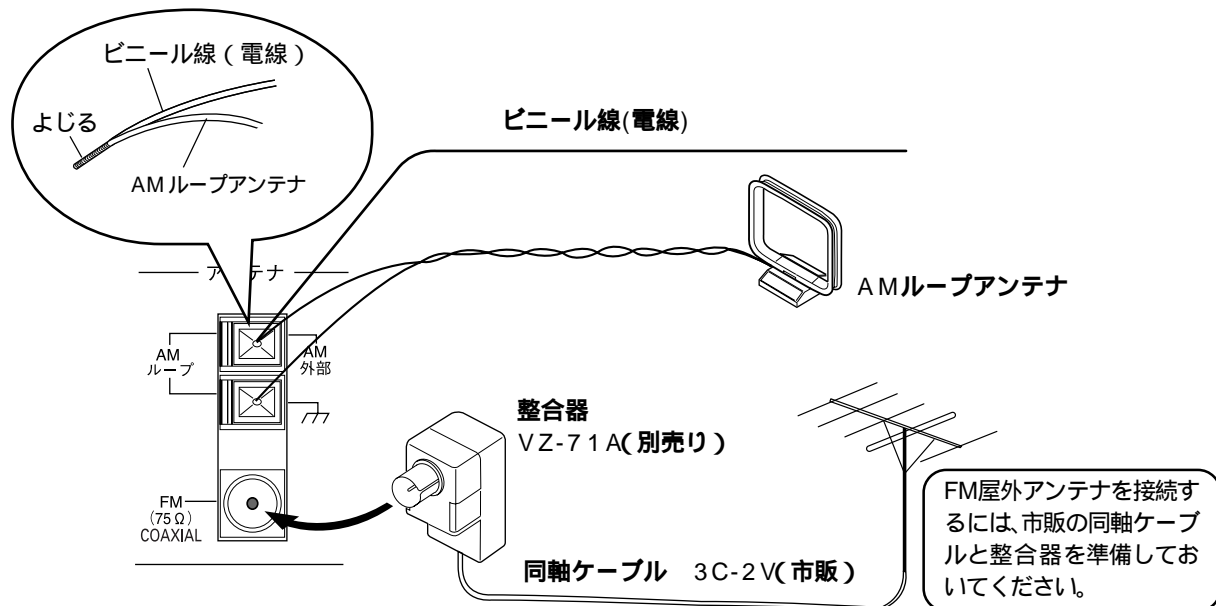
FM 簡易型アンテナ

放送局を受信して最も受信状態の良い位置に「ピン」と伸ばしてテープなどで固定します。

屋外アンテナの接続

付属のFM 簡易型アンテナ、AM ループアンテナではうまく受信できないときマンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

- AM 外部端子から 3m ~ 5m のビニール線(電線)を張る程度でも効果があります。窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。
- AM ループアンテナも一緒に接続しておいてください。
- アース端子から地面にアース線を接続すると、より雑音が減ります。



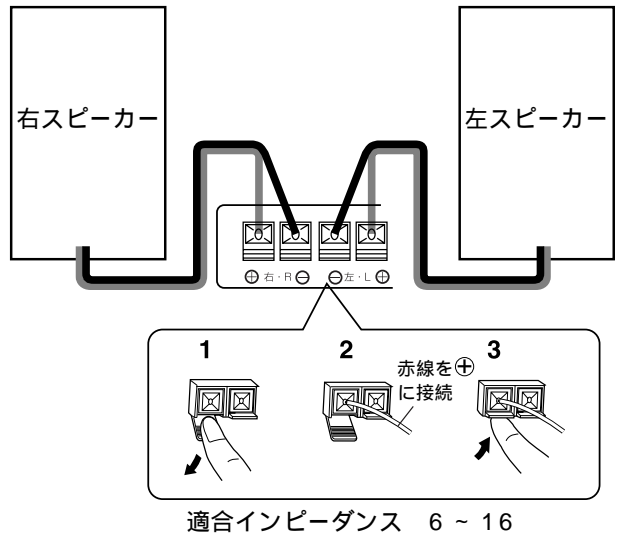
スピーカーの接続

- ・ スピーカー背面から出ているスピーカーコードを、本機のスピーカー端子に接続します。
- ・ スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます(左右の区別はありません)。

正面向かって右スピーカーを右・R端子に、左スピーカーを左・L端子に接続します。

スピーカーコードの黒線側を「 \ominus 」に、赤線側を「 \oplus 」に接続してください。

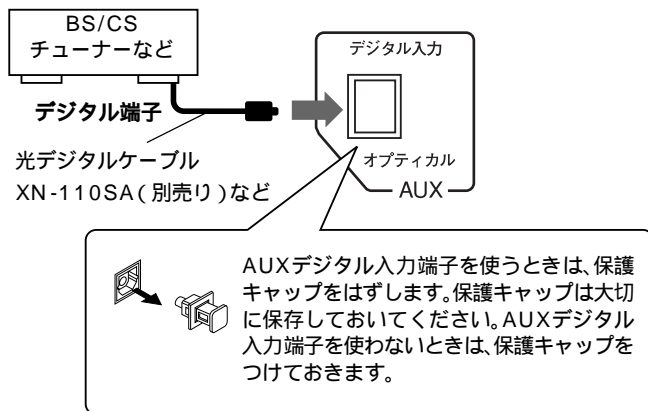
ご注意： スピーカーコードの赤線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置すると、色ムラを生じることがあります。テレビとは十分離して設置してください。



他の機器の接続

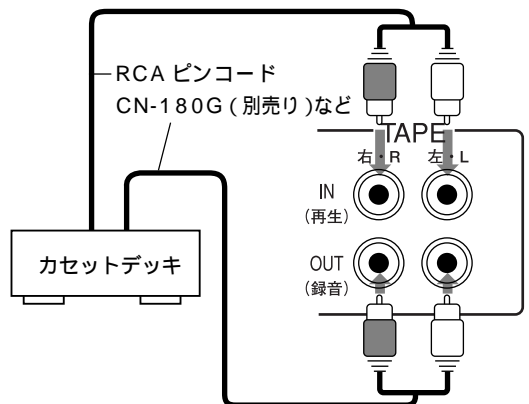
デジタル機器を接続する

デジタル機器を接続するときは、AUX デジタル入力端子に接続します。



カセットデッキを接続する

カセットデッキは、TAPE端子に接続します。

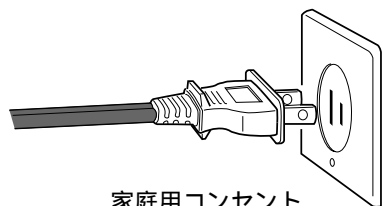


- ・ レコードプレーヤー (AL-E350 + AC-S100J) を接続するときは、IN (再生) 端子を使います。

電源プラグの接続

すべての接続が終わったら電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V、50/60Hz) に差し込みます。

電源プラグをコンセントに差し込むと、本体ディスプレイがデモ表示を行います。➡ 16 ページ参照



家庭用コンセント
AC100V 50/60Hz

電源「入」 / 「切」について

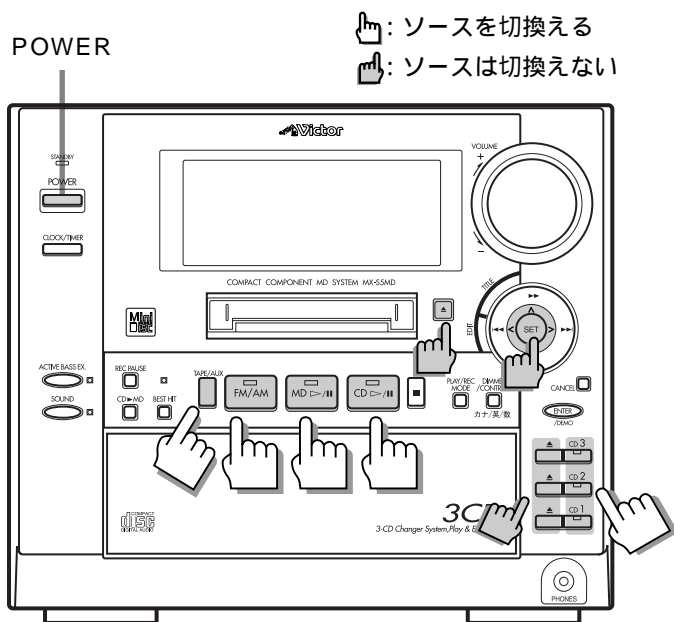
電源を「入」にする

POWER ボタンを押します。POWER ボタン以外にもイチ押しボタンを使うこともできます。
STANDBY ランプが消灯し、「HELLO」アニメーションを表示します。

電源を「切」にする

POWER ボタンを押します。STANDBY ランプが点灯に変わり、「SEE YOU」アニメーションを表示します。

本 体



イチ押しボタンを押す

電源が「切」のときに、次のボタンを押すと自動的に電源を「入」にして、ソースも切り替わります。

FM/AM : 前回聞いていた放送局を受信します。
MD ▶/|| : MD が入っているときは演奏が始まります。

CD ▶/|| : CD が入っているときは演奏が始まります。

CD1 ~ CD3 : 押したディスク番号の CD が入っているときは演奏が始まります。

TAPE/AUX : ソースを TAPE または AUX DIGITAL にします。

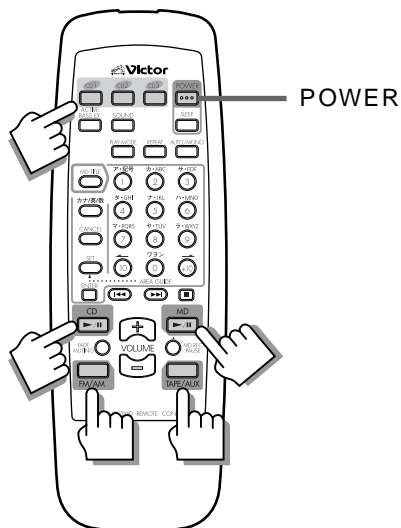
電源が「切」のときに、次のボタンを押すと自動的に電源を「入」にします。

SET : 電源を切る前に聞いていたソースを演奏します。

▲ (CD1 ~ CD3) : 押した CD 番号の CD トレイが出てきます。

▲ (MD) : MD が入っているときは、MD が取り出せます。

リモコン



イチ押しボタンを押す

電源が「切」のときに、次のボタンを押すと自動的に電源を「入」にして、ソースも切り替わります。

CD1 ~ CD3 : 押した CD 番号の CD トレイに CD が入っているときは演奏が始まります。

CD ▶/|| : CD が入っているときは演奏が始まります。

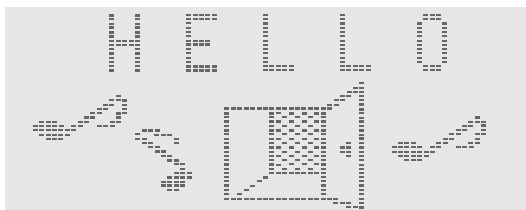
MD ▶/|| : MD が入っているときは演奏が始まります。

FM/AM : 前回聞いていた放送局を受信します。

TAPE/AUX : ソースを TAPE または AUX DIGITAL にします。

「HELLO」アニメーション

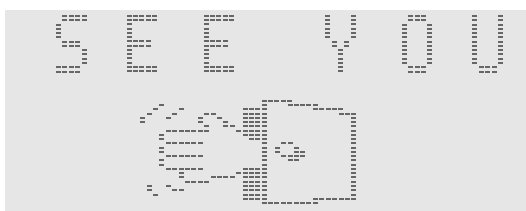
電源を[入]にすると、次のようなアニメーションを表示します。



アニメーションの代わりに39文字までのオープニングメッセージを登録しておくことができます。登録の方法は、「メッセージの登録」(⇒84ページ)をご覧ください。

「SEE YOU」アニメーション

電源を「切」にすると、次のようなアニメーションを表示します。



アニメーションの代わりに39文字までのエンディングメッセージを登録しておくことができます。登録の方法は、「メッセージの登録」(⇒84ページ)をご覧ください。

本機を操作すると、「HELLO」アニメーションや「SEE YOU」アニメーション以外にも、本機の動作状態を表すアニメーション表示をディスプレイの下側に行います。

CDまたはMDの演奏中やラジオが放送局を受信しているときのアニメーション表示

- ・ ソースが「TAPE」または「AUX DIGITAL」のときは、常にこの表示を行います。



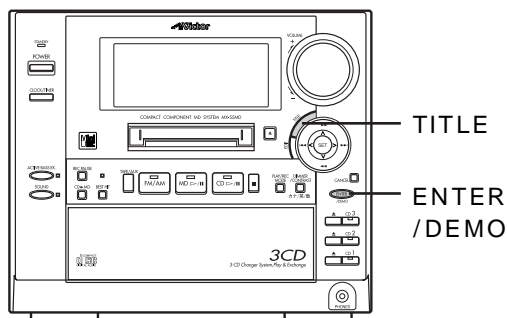
CDまたはMDが停止、一時停止中のときやラジオが放送局を受信していないときのアニメーション表示



デモ表示とスクリーン表示

本機には、デモ表示機能とスクリーン表示機能があります。

デモ表示機能



電源プラグをコンセントに差し込むと、自動的にデモ表示を始めます。

デモ表示は次のようなときに行われます。

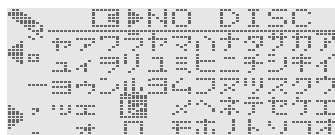
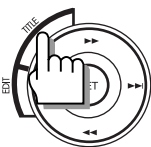
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- ・ 電源を「切」にしてから2分を経過したとき
- ・ 電源「入」のとき2分以上どのボタンも操作しないとき

デモ表示の一時的解除

デモ表示は、本体のどの操作ボタンを押しても一時的に解除されます。

タイトル入力デモ

MDが入っていないくても、デモ表示中にTITLEを押すと、タイトル入力デモ画面に変わります。



ジョイコントロールを上下左右方向に押して文字を選ぶ操作を体感することができます。カナ/英/数ボタンを押して文字の種類を変えることもできます。

タイトル入力については、[88](#)ページをご覧ください。

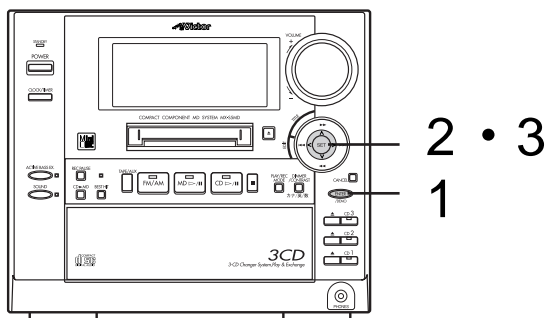
デモ表示の解除

電源「入」または「切」のときデモ表示を行わないようにするには、デモ表示中にENTER/DEMOを押します。「MODE OFF!」が表示され、電源「切」の場合、初期設定ではディスプレイのバックライトが消え、「POWER SAVING」を表示します。

ディスプレイモードのバックアップ

電源プラグをコンセントに差し込んででもデモ表示を行わない設定をすることもできます。詳しくは「ディスプレイモードのバックアップ」⇒[83](#)ページをご覧ください。

スクリーン表示機能



[17](#)ページのディスプレイモードで「DOLPHIN」を選んでいると、電源「入」のとき設定した時間内にどのボタンも操作しないと、スクリーン表示機能が働き、ディスプレイにイルカをイメージしたアニメーションを表示します。



本体のどの操作ボタンを押しても前の表示に戻ります。

デモ表示とスクリーン表示の設定と解除方法

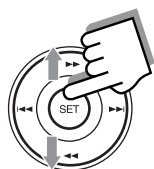
1 ENTER/DEMO を押す

「DISPLAY MODE」が表示されます。



- ・「MODE OFF!」が表示されたときは、もう一度 ENTER/DEMO を押します。

2 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押しお好みのモードを選ぶ



例：「DOLPHIN」を選んだとき

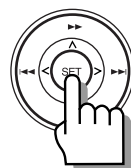


- デモ DEMO：** デモ表示を行うときに選びます。電源プラグをコンセントに差し込むとこのモードに設定されます。
- ドルフィン DOLPHIN：** スクリーン表示機能を使うときに選びます。スクリーン表示を動かせるための時間も設定できます。初期設定は1分です。
- OFF：** デモ表示機能とスクリーン表示機能を働かせないときに選びます。

「DOLPHIN」を選んだときは、スクリーン表示を動かせるための時間が設定できます。

▶▶または◀◀方向に押し時間（1分、3分、5分）を選んでから SET を押します。

3 SET を押す



「DEMO」を選んだとき

すぐにデモ表示を始めます。

一時的に解除したときは、2分間ボタンを操作しないと、デモ表示を始めます。

「DOLPHIN」を選んだとき：



すぐにイルカのアニメーションが始まります。

ボタンを操作すると通常表示に戻ります。

設定した時間内にボタンを操作しないと、再びイルカのアニメーション表示をします。

電源「切」のときは、「DOLPHIN ON!」を表示後電源が切れます。

「OFF」を選んだとき：

初めて ENTER/DEMO を押したとき：



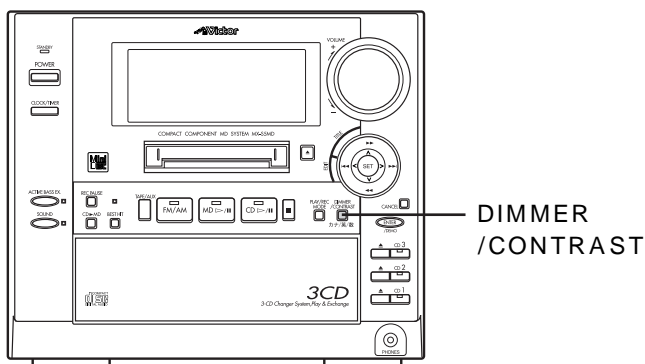
電源「切」のときもデモ表示機能とスクリーン表示機能は働きません。

お知らせ

- ・設定したスクリーン表示をバックアップ(記憶)することができます。通常、電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイモードは自動的に「DEMO」に設定されますが、ディスプレイモードのバックアップを行うと、電源プラグの抜き差しをしても、あなたが設定したディスプレイモードを呼び出してスクリーン表示機能を動作させます。電源プラグを抜き差しするたびにディスプレイモードを設定する必要がなくなります。詳しくは「ディスプレイモードのバックアップ」(➡ 83 ページ)をご覧ください。
- ・録音と MD の編集をしているときは、デモ表示またはスクリーン表示をしません。

バックライトの明るさを変える

電源「切」のときと電源「入」のときのバックライトの明るさを変えることができます。



DIMMER/CONTRASTを押してバックライトの明るさを選ぶ



電源「切」のとき押すと、次のようにディスプレイが変わります。

消灯 (省エネモード): 初期設定



ディマー (うす明るい)

電源「入」のとき押すと、次のようにディスプレイが変わります。

明るい: 初期設定



ディマー (うす明るい)

電源「切」のとき:

- 電源「切」のとき「消灯 (省エネモード)」に設定した状態で電源を「切」にすると、ディスプレイのバックライトが消え、「POWER SAVING」を表示します。



ご注意:「消灯 (省エネモード)」に設定してあると、電源「切」のときは、MDを入れることはできません。電源を「入」にしてからMDを入れてください。

- 電源「切」のとき「ディマー (うす明るい)」に設定してあると、MDスロットにMDを入れるだけで、電源を「入」にすることができます。

電源「入」のとき:

- 電源「入」のとき「ディマー (うす明るい)」に設定してあると、通常はディマーの状態になります。パノラマ表示のときだけ明るくなります。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、バックライトは常に電源「切」時の「消灯 (省エネモード)」、電源「入」時の「明るい」に戻ります。
- デモ表示中は、バックライトの設定に関わらず常に「明るい」の状態が表示されます。

省エネモード

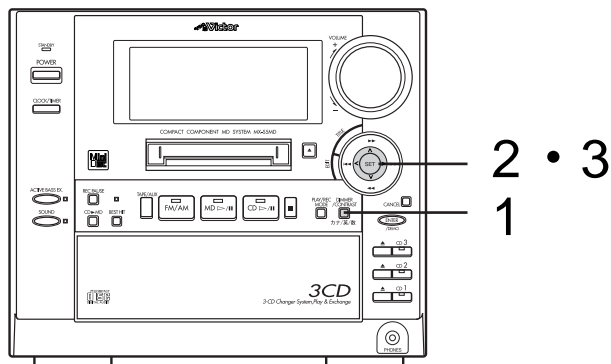
電源「切」のとき「消灯 (省エネモード)」に設定してあると、省エネモードになります。通常よりも電源「切」時の消費電力を抑えることができます。

11W が 1.4W になります。

コントラストを変える

ディスプレイ表示全体のコントラストを変えることができます。

はじめに



1 DIMMER/CONTRAST を 2 秒以上押す

コントラストを調節する画面を表示します。



3 SET を押す

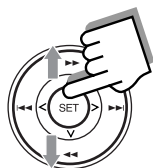
コントラストを調節した状態で通常表示に戻ります。



2 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押してコントラストを調節する

▶▶ 方向に押すとディスプレイが濃くなり、
◀◀ 方向に押すと薄くなります。

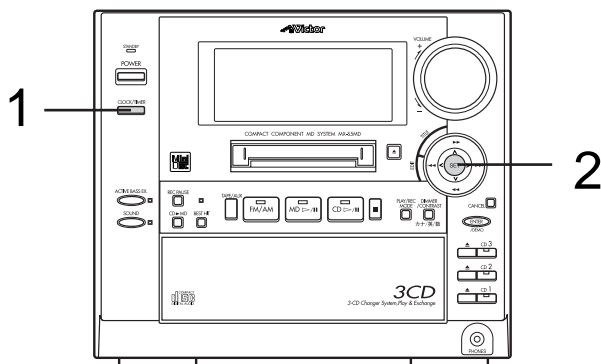
• 0 ~ + 64 の範囲で調節できます。



レベルによって変わります。

時計を合わせる

本機には24時間表示の時計機能がついています。本機の手操作をする前に時計を現在時刻に正しく合わせます。時計は電源が「入」/「切」のどちらでも合わせることができます。



1 CLOCK/TIMER を押す

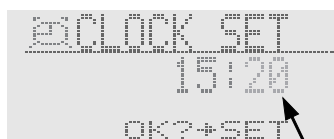
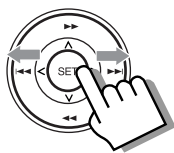


- ・「時」表示(お買いあげ時は0)が点滅します。

2 時刻を設定する

1. 「時」を設定する

ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し「時」を合わせてから、SETを押します。



点滅

2. 「分」を設定する

ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し「分」を合わせてから、SETを押します。

- ・▶▶または◀◀方向に押し続けると、連続して時刻が変わります。
- ・「分」を設定しているとき、CANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。
- ・「分」を合わせてから、SETを押すと「ADJUT OK!」が表示されます。時計合わせが終了すると、電源が「切」のときは現在時刻の表示になります。電源が「入」のときは時計を設定する前の表示に戻ります。

時計を正確に合わせるには

「分」を合わせてから、テレビ、ラジオの時報や、117の時報に合わせてSETを押すと正確に合わせることができます。

設定した時刻の0秒から時計が動き始めます。

時刻を設定すると

時刻を設定すると、DAILY タイマー、REC タイマー、SLEEP タイマーの設定ができるようになります。時刻が設定されていないときは、DAILY タイマー、REC タイマー、SLEEP タイマーの設定はできません。一度設定した時刻を修正するときは、CLOCK/TIMERを5回押しCLOCK SET表示にしてから2の操作で修正してください。

ご注意

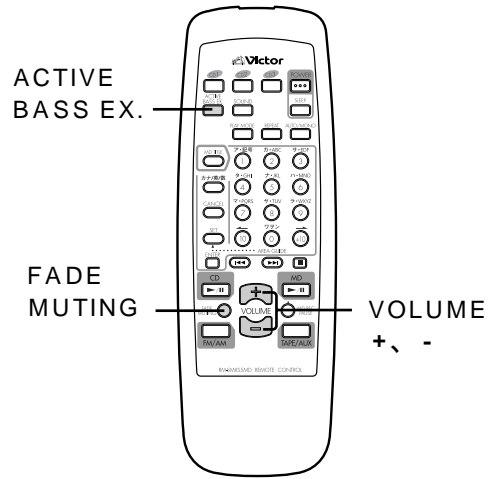
- ・本機は、必ず時計合わせを完了してから、他の操作を行ってください。
- ・停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、⌚と0:00の点滅表示に戻ります。もう一度時計を正しい時刻に合わせてください。

お知らせ

本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマーを使用するときは、事前に時刻を合わせ直してください。

音量を変える / 低音を強調する

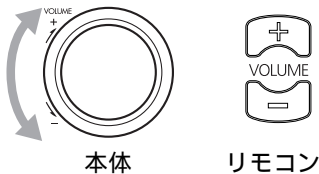
音量の調節、低音の強調をしてお好みのサウンドモードを選びます。



基本操作

音量を調節する

VOLUME を回します。
リモコンを使うときは、VOLUME +、- を押します。



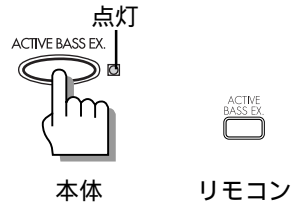
一時的に消音するとき
(電話がかかってきたときなど)
リモコンのFADE MUTINGを押します。もう一度押すと聞いていた音量に戻ります。



ご注意：電源を入れたとき、いきなり大きな音が出るのを避けるため、電源を「切」にする前に音量を絞っておいてください。電源が「切」のときは、音量を調節することができません。

低音を強調する

ACTIVE BASS EX. を押します。
「オン」のときは、ランプが点灯します。



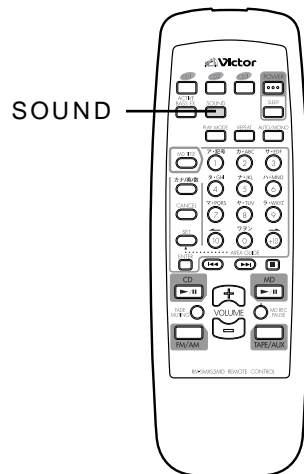
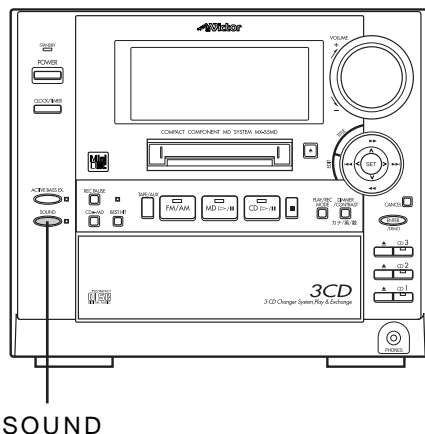
もう一度押すと低音の強調をやめます。
ランプが消灯します。



サウンドモードを変える

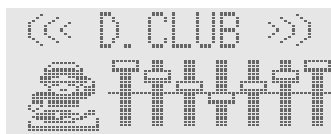
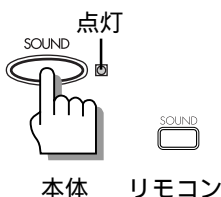
お好みのサウンドモードを選びます。

サウンドモードには、演奏会場の臨場感ある雰囲気を生み出すサウンド効果のあるモードと、低音部から高音部までの周波数域を増減した音質だけを調節したサウンド効果のないモードがあります。



SOUND を押す

サウンドランプが点灯します。



ボタンを押すたびに次のようにモードが変わります。

D. CLUB (ダンスクラブの音場)

HALL (コンサート会場の
広がりのある音)

サウンド
効果のある
モード

STADIUM (屋外会場の
広がりのある音)

ROCK (迫力ある音)

POP (中音部を強調した音)

サウンド
効果のない
モード

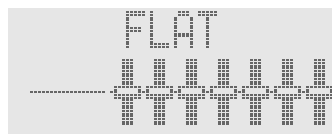
CLASSIC (重厚な
厚みのある音)

MANUAL・・・あなたが登録した
パターン。

FLAT (解除)

サウンドモードをやめる

サウンドモードをやめるときは、SOUND を押して「FLAT」を選びます。サウンドランプが消灯します。

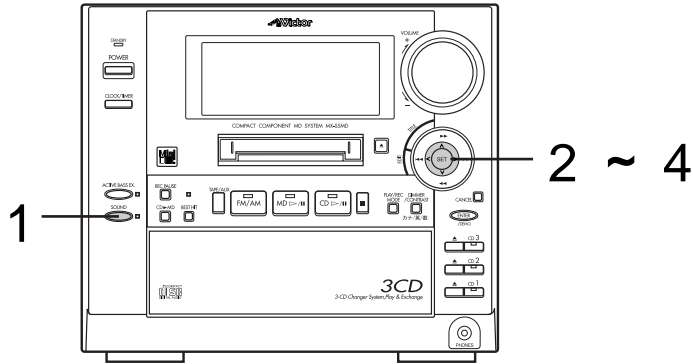


お知らせ

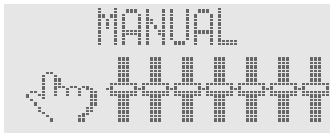
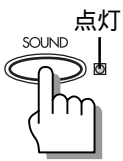
- ・「MANUAL」にはお好みのパターンを登録することができます。登録をする方法は 23 ページをご覧ください。
- ・SOUND ボタンを 1 度押すと選んでいるサウンドモードを表示します。
- ・サウンドモード効果の音はスピーカーやヘッドホンに効きます。この効果音で録音することはできません。

サウンドモードを登録する

サウンドモードの「MANUAL」にお好みのパターンを登録することができます。

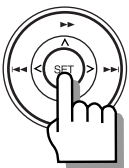


1 SOUND を押して「MANUAL」を選ぶ



- 「MANUAL」を4秒間表示します。表示している間に次の操作をします。

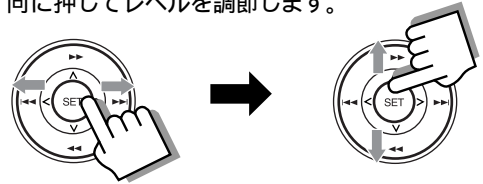
2 SET を押す



- 10秒間表示します。表示している間に次の操作をします。

3 パターンを作る

ジョイコントロールを▶▶ または◀◀方向に押し調節するレンジを選び、▶▶ または◀◀方向に押しレベルを調節します。



レンジを選ぶ

レベルを選ぶ

- レンジは、LOW (低音)、MID (中音)、HIGH (高音) の3か所を選ぶことができます。
- レベルは、-3 ~ +3 まで7段階調節することができます。

例：LOW (低音) を +1 にしたとき

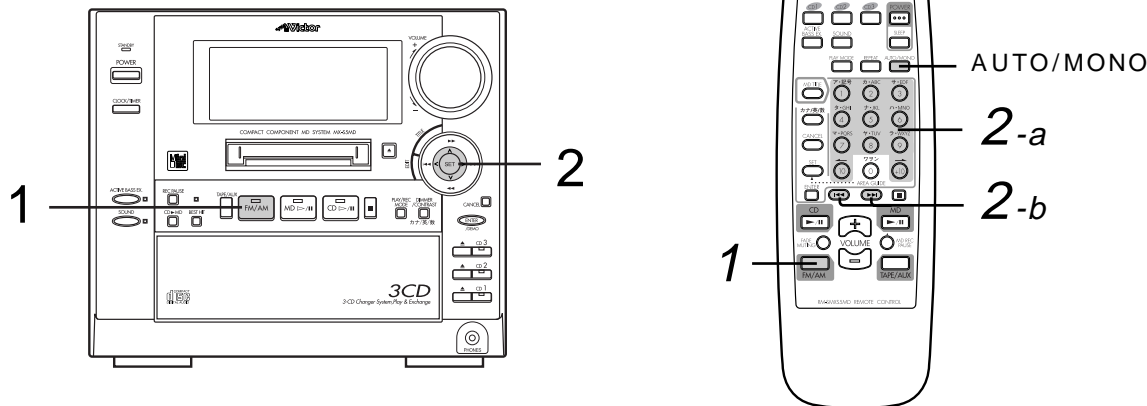


4. SET を押す

- SET を押さないときは、10秒でサウンドモードが終了し決定されます。

ラジオを聞く

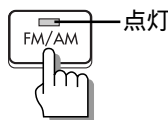
ラジオを聞くための操作について説明します。



本体

1 FM/AM を押して放送 (FM または AM) を選ぶ

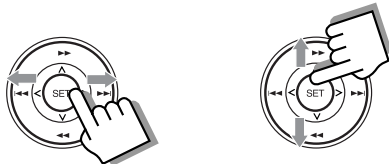
押すたびに FM、AM が切換わります。



2 選局をする

a. ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押して記憶してある放送局の番号を選ぶ (プリセット選局といいます)

あらかじめ放送局を記憶させておきます。放送局を記憶させる → 26 ページ参照



放送局の番号を選ぶ

周波数を選ぶ

b. ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押して周波数を選ぶ

2 種類の選局方法があります。

マニュアルチューニング:

▶▶方向に押すと周波数が上がり、◀◀方向に押すと周波数が下がります。

FM 放送: 0.1MHz ずつ変わります。

AM 放送: 9kHz ずつ変わります。

オートチューニング:

▶▶または◀◀方向に押し続け、周波数が変化してから指を離すと、オートチューニングを始めます。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

リモコン

1 FM/AM を押して放送 (FM または AM) を選ぶ

押すたびに FM、AM が切換わります。



2 選局をする

a. 数字キーを使って聞きたい放送局を記憶してある放送局の番号を選ぶ (プリセット選局といいます)

放送局を記憶させる → 26 ページ参照

プリセットチャンネルの入力方法

1 ~ 10 を選局するとき:

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

11 ~ 20 を選局するとき:

+ 10 キーを押してから、

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

21 ~ 30 を選局するとき:

+ 10 キーを 2 回押してから、

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。



b. ▶▶または◀◀を押して周波数を選ぶ

2 種類の方法があります。



マニュアルチューニング:

▶▶または◀◀を押します。▶▶を押すと周波数が上がり、◀◀を押すと周波数が下がります。

オートチューニング:

▶▶または◀◀を押し続け、周波数が変化してから指を離すと、オートチューニングを始めます。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

ディスプレイについて

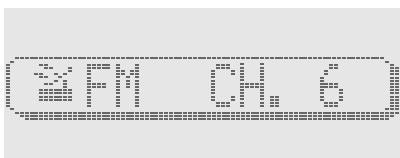
放送を受信しているとき：



放送を受信していないとき：



リモコンで放送局の番号を入力すると：



放送を受信すると

放送を受信すると「TUNED」表示が点灯し、FM ステレオ放送を受信すると「STEREO」表示も点灯します。

STEREO —— FM ステレオ放送を受信すると点灯
TUNED —— 放送を受信すると点灯

FM ステレオ放送が聞きにくいとき

電波が弱いときなどは、ステレオ放送に雑音が目立ち聞きにくくなる場合があります。そのようなときは、モノラル音声にすると雑音が少なくなり聞きやすくなります。

モノラル音声にする

リモコンの AUTO/MONO を押す



モノラル音声に固定され、ステレオ放送のときもモノラル音声になり、「STEREO」表示が消灯します。

ステレオ音声に戻す

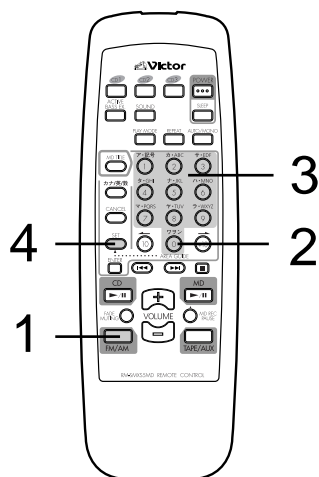
もう一度 AUTO/MONO を押す



ステレオ放送のときはステレオ音声、モノラル放送のときはモノラル音声に自動的に切替わるオート受信になります。放送をしていない周波数域の雑音をミュート（低減）する機能も働きます。

通常は「AUTO」でお使いください。
付属のアンテナではうまく受信できないときは、屋外アンテナを接続してください。➡ 12 ページ参照

放送局を記憶させる (エリアガイド機能)



エリアガイド機能

本機は、市外局番を入力するだけで、お住まいの地域で受信できる放送を自動的に記憶し、放送局名も表示します。

この場合、AM 放送局は本機に内蔵されている放送局を呼び出して記憶します。(⇒ 86 ~ 87 参照) FM 放送局は市外局番 03 と 06 を入力したときは、本機に内蔵されている放送局 (03 は 12 局、06 は 7 局) を呼び出して記憶します。これ以外は、お住まいの地域で受信できる放送局を 76 ~ 108MHz の間で自動選局し、記憶します。リモコンを使って操作します。

1 FM/AM を押す

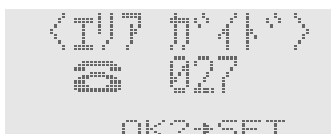


2 AREA GUIDE を押す



3 1 ~ 9、0 キーを使って残りの市外局番を入力する

局番は 4 ケタまで入力できます。局番が 5 ケタ以上の地域でも 4 ケタまで入力すれば、エリアガイドによる設定をすることができます。



4 SET を押す



放送局名を表示しながら AM → FM の順に自動で記憶していきます。記憶が終了すると、FM1 の放送局を受信します。

記憶した放送局名を削除する

記憶終了後に次に操作をすると、プリセットした放送局全ての放送局名を削除することができます。

1. AREA GUIDE を押す
2. SET を押す

ディスプレイに「NAME CUT」を表示します。(この場合、MD に録音しても放送局名は記録されずに受信バンドと周波数が記録されます)



- ・再度放送局名を表示させるには、もう一度エリアガイドの操作をします。

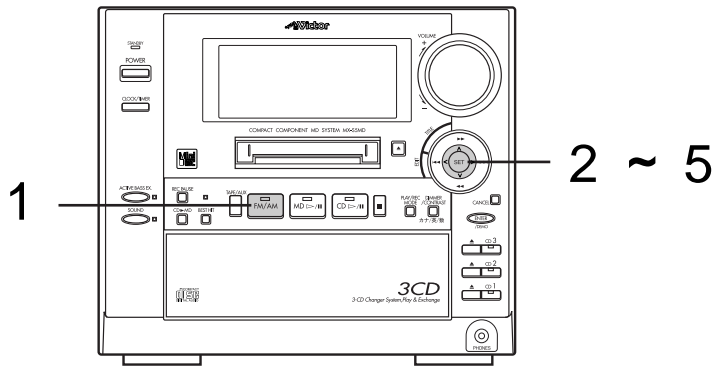
お知らせ

- ・電波事情や地域によっては、エリアガイドで記憶するよりも自分で選局するほうが良好に受信できる地域もあります。このようなときは、ご自分で放送局を記憶させてください。(⇒ 27 28 ページ参照)
- ・記憶した放送局は、電源プラグを抜いたり停電があると、取り消されることがあります。このようなときは、エリアガイドの操作をやり直してください。
- ・エリアガイドで放送局を記憶しておくと MD 録音時に放送局名が自動で記録されます。ただし、録音中に無音部分が 3 秒以上続き、自動的にトラックマークがついた場合は、それ以降の放送局名は記録されません。

ご注意: エリアガイドによる放送局名表示は、コミュニティ FM 放送局には対応していません。

放送局を選んで記憶する（本体）

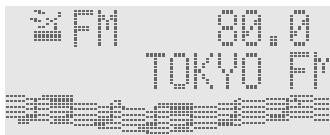
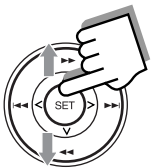
エリアガイドで記憶したあとに、別の放送局を選んで記憶します。
本体を使った方法を説明します。



1 FM/AM を押す

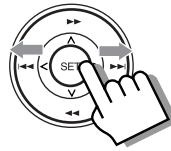


2 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し記憶する放送局を受信する



4 ▶▶または◀◀方向に押し記憶する放送局番号を指定する

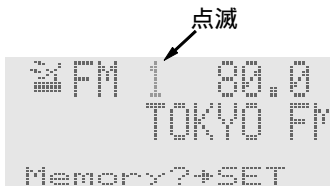
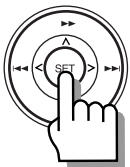
例：FM7を選んだとき



- すでに記憶されている放送局の番号を指定すると、新たに選んだ放送局が記憶されます。
- AM 放送局を 15 局、FM 放送局を 30 局まで記憶することができます。

3 SET を押す

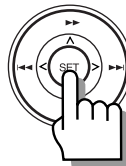
放送局の番号が 4 秒間点滅します。



- 放送局の番号が点滅している間に操作 4. と操作 5. を行います。

5 SET を押す

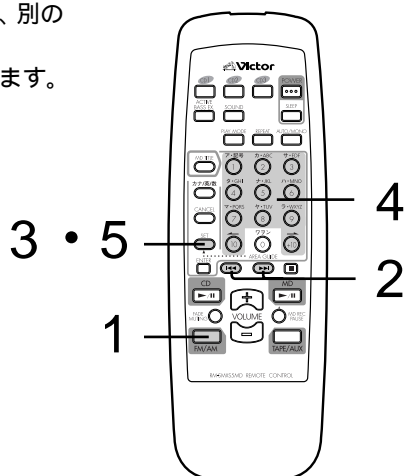
ディスプレイに「CH. Memory」を表示します。
「CH. Memory」が消えると記憶が完了します。



ご注意： 放送局を選んで記憶したあとにエリアガイドの操作をすると、追加 / 変更した内容がすべて消去され、エリアガイドによって記憶した放送局が設定されます。

放送局を選んで記憶する (リモコン)

エリアガイドで記憶したあとに、別の放送局を選んで記憶します。
リモコンを使った方法を説明します。



1 FM/AM を押す



2 ▶▶または◀◀を押して記憶する放送局を受信する



3 SET を押す

放送局の番号が 4 秒間点滅します。



- 放送局の番号が点滅している間に操作 4. と操作 5. を行います。

4 1 ~ 10、+ 10 キーを押して記憶する放送局の番号を指定する

例：FM7 を選んだとき



- すでに記憶されている放送局の番号を指定すると、新たに選んだ放送局が記憶されます。
- AM 放送局を 15 局、FM 放送局を 30 局まで記憶することができます。

5 SET を押す

ディスプレイに「CH. Memory」を表示します。「CH. Memory」が消えると記憶が完了します。



ご注意： 放送局を選んで記憶したあとにエリアガイドの操作をすると、追加 / 変更した内容がすべて消去され、エリアガイドによって記憶した放送局が設定されます。

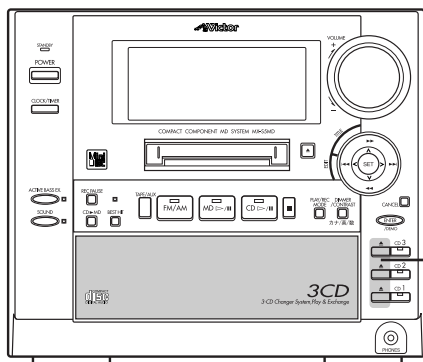
CDを入れる

本機はCDトレイの中に3枚のサブトレイを収納するチェンジャータイプのCDプレーヤーです。

CDについて
マークを確認して



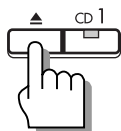
左記のマークの入ったディスクに限りご使用できます。



1 CDを入れる CD番号の▲を押す

指定したサブトレイが出てきます。
ディスプレイに「OPEN」を表示します。

例：CD1の▲を押したとき

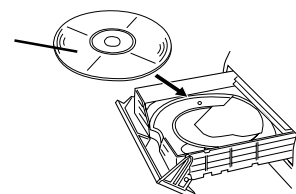


- CDトレイ内のサブトレイは、下から順にCD1、CD2、CD3になります。

2 文字のある面を上にしてCDを置く

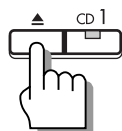
- 8センチCDは、サブトレイ内の凹部に置きます。

文字のある面を上にする



3 操作1.と同じ▲を押す

ディスプレイに「CLOSE」を表示します。



- 操作1.から操作3.をくり返してCDを3枚まで入れることができます。

CDを続けて入れる

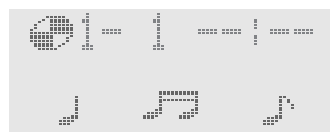
CDを続けて入れるときは、CDトレイを戻すときに、次に入れるCD番号の0を押します。一度CDトレイを戻してから、▲を押したCD番号のサブトレイを一番上にして出てきます。一枚ずつ入れてください。

ディスプレイの表示

ソースがCDのときCDを入れて閉めると、次のように表示が変わります。

例：CD1のとき

CD読み込み中：



曲数と
トータル時間表示：

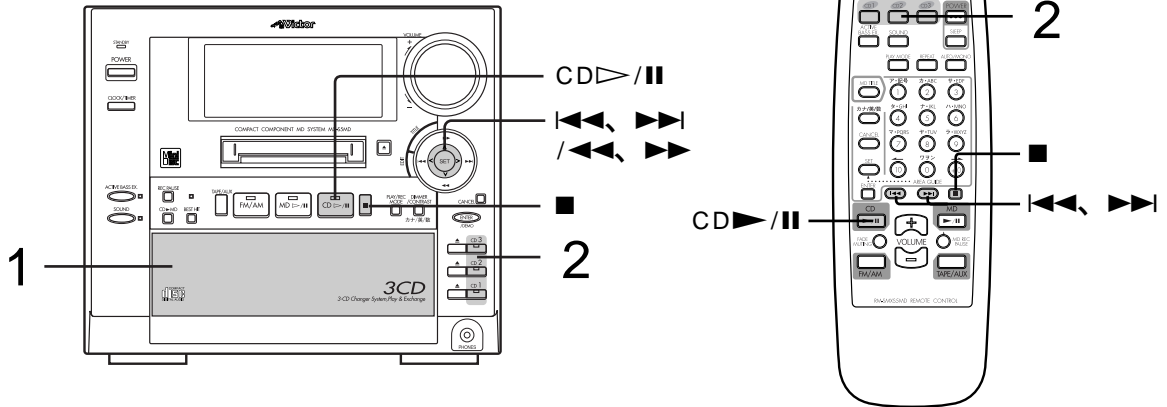


ご注意：

- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、ディスクトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

CD の連続演奏 (基本操作)

3枚のCDを連続して演奏します。

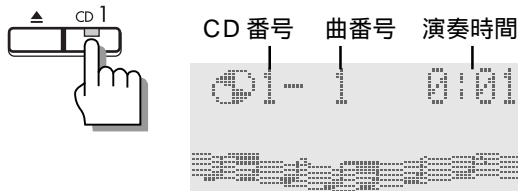


1 CD1 ~ 3 にCDを入れる

「CDを入れる」→29ページ参照

2 演奏するCDのCD 1 ~ CD 3のいずれかを押す

例：CD1を押したとき

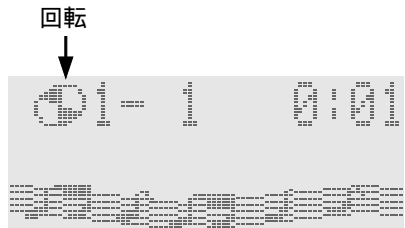


- CD 1 ~ CD 3 の代わりに CD▷/|| を押すとランプが緑色に点灯しているCDから演奏を始めます。
- リモコンを使うときも、同様の操作をします。



CD 演奏中のディスプレイ表示

演奏中：



停止時：



一時停止中：



CD を停止する

途中で CD の演奏を停止するときは、■を押します。



本体



リモコン

CD の演奏順序

CD がすべて入っているときの演奏順序は次のようになります。

CD 1 を押すと、CD 1 CD 2 CD 3 の順に演奏し、CD 3 の演奏が終了すると自動停止します。

CD 2 を押すと、CD 2 CD 3 CD 1 の順に演奏し、CD 1 の演奏が終了すると自動停止します。

CD 3 を押すと、CD 3 CD 1 CD 2 の順に演奏し、CD 2 の演奏が終了すると自動停止します。

CD が 2 枚入っているときは、CD の入っていないトレイを飛ばして演奏し自動停止します。

CD を取り出す

取り出す CD の▲を押します。

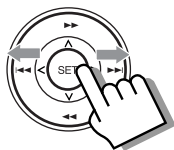
演奏を一時停止するとき

演奏中に CD▷/|| を押します。

もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

曲ごとの演奏時間を確認する

演奏が停止しているときにジョイコントロールを▶▶(次の曲)または◀◀(前の曲)方向に押します。曲ごとの演奏時間を表示するので1曲録音などに便利です。



本体



リモコン

表示した曲を演奏するときは、CD▷/|| またはリモコンの数字キーを押します。その曲から演奏を始めます。

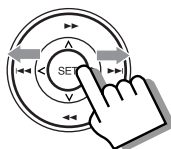
曲の頭出し

▶▶(次の曲の頭出し)または◀◀(演奏中の曲の頭出し)方向に押します。

押すたびに 1 曲ずつ変化します。

本体の▶▶または◀◀方向に押し続けると連続して変化します。

リモコンの▶▶または◀◀は停止中に押し続けると連続して変化します。



本体



リモコン

曲をダイレクトに演奏する

リモコンの数字キーを使います。

1 ~ 10 を指定するとき：

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

11 ~ 20 を指定するとき：

+ 10 キーを押してから、

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

21 ~ 30 を指定するとき：

+ 10 キーを 2 回押してから、

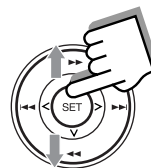
1 ~ 10 キーのいずれかを押す。



早送り / 早戻し

本体：

演奏中にジョイコントロールを▶▶(早送り)または◀◀(早戻し)方向に押し続けます。



リモコン：

演奏中に▶▶(早送り)または◀◀(早戻し)を押し続けます。

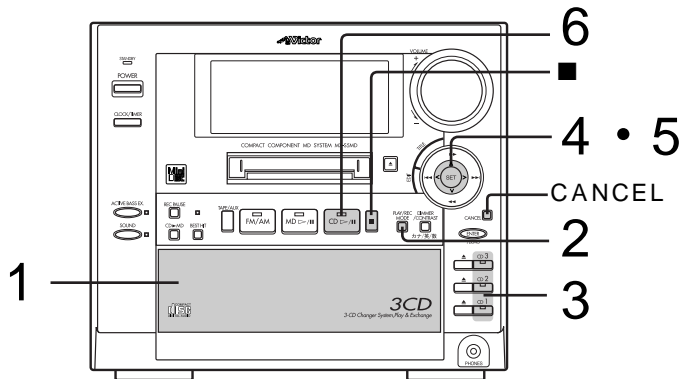


演奏中に他の CD に交換する

演奏していない CD 番号の▲を押して、CD を交換します。演奏中に CD を交換すると、CD 演奏順の最後に交換した CD の演奏が終了すると自動停止します。

CD のプログラム演奏 (本体)

3 枚の CD から好きな曲をお好みの順番で聞くことができます。



1 CD を入れる

「CD を入れる」→ 29 ページ参照

- ・ ソースが CD になっていないときは、CD▶/|| を押してから ■ を押します。

2 PLAY/REC MODE を押して CD PROGRAM を選ぶ

PLAY/REC MODE を押すたびにプレイモード表示が次のように切替わります。



PLAY/REC
MODE

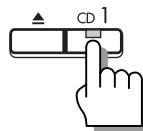


- ・ すでにプログラムがされているときは、CD 番号、曲番号、プログラム番号を表示します。
- ・ PLAY/REC MODE は、CD が停止中に操作することができます。PLAY/REC MODE を操作するときは、必ず CD を停止状態にしてください。

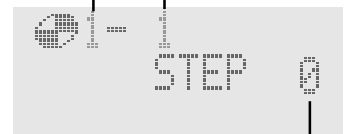
3 CD を指定する

CD 1 ~ CD 3 のいずれかを押します。

CD 1 を指定したとき



CD 番号 曲番号



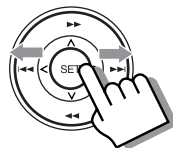
プログラム番号

CD 番号と曲番号が点滅します。

- ・ CD 1 ~ CD 3 を押す代わりにジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押して CD を指定することもできます。

4 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押して曲を指定する

例：5 曲目を指定したとき

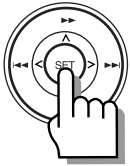


CD 番号と曲番号が点滅します。



33 ページへ続く

5 SET を押す

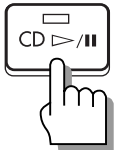


プログラム番号 (STEP) の 1 が表示されます。

- 操作 3. ~ 操作 5. をくり返してプログラムしていきます。同じ CD の違う曲を続けてプログラムするときは、曲番号だけを指定してから SET を押します。
最大 32 曲までプログラムすることができます。
33 曲目を指定すると「CD PROGRAM FULL」を表示します。



6 CD▷/|| を押す



- プログラムした全曲の演奏が終了すると自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏を停止します。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。CD が停止中に ▶▶ (次の曲) または ◀◀ (前の曲) を押します。



リモコン

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
リピート演奏 → 36 ページ参照

プログラムを間違えたときは (削除)



CD が停止中に CANCEL (本体またはリモコン) を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラム内容をすべて削除するには

CD が停止中に本体の CANCEL を「CD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けます。



- 電源を「切」にしたときも、プログラムの内容はすべて削除されます。
- リモコンの CANCEL ではできません。

プログラムの取り消し

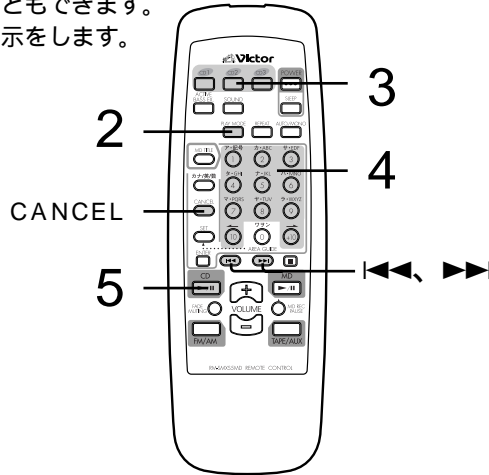
プログラムした CD 番号の ▲ を押します。▲ を押しした CD のプログラムは取り消されます。

プログラム演奏のモードを解除する

CD が停止中に PLAY/REC MODE を押して、プレイモード表示を消灯させます。

CD のプログラム演奏 (リモコン)

リモコンを使ってプログラムすることもできます。
表示は本体で操作したときと同じ表示をします。



1 CD を入れる

「CD を入れる」→ 29 ページ参照

- ・ ソースがCDになっていないときは、CD ▶/|| を押してから ■ を押します。

2 PLAY MODE を押して CD PROGRAM を選ぶ

PLAY MODE を押すたびにプレイモード表示が次のように切り替わります。



- ・ すでにプログラムがされている場合は、CD 番号、曲番号、プログラム番号を表示します。
- ・ PLAY MODE は、CD が停止中に操作することができます。PLAY MODE を操作するときは、必ず CD を停止状態にしてください。

3 CD を指定する

CD 1 ~ CD 3 のいずれかを押します。



4 数字キーを押して曲を指定する

1 ~ 10、+ 10 キーを押して、曲番号をダイレクトに入力します。(→ 31 ページ参照)

- ・ 操作3. ~ 操作4. をくり返してプログラムしていきます。同じCDの違う曲を続けてプログラムするときは、曲番号だけを指定します。最大32曲までプログラムすることができます。33曲目を指定すると「CD PROGRAM FULL」を表示します。

5. CD ▶/|| を押す

- ・ プログラムした全曲の演奏が終了すると自動停止します。

プログラム演奏を止める

■ を押します。
演奏を停止します。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。CD が停止中に ▶▶ (次の曲) または ◀◀ (前の曲) を押します。

プログラムを間違えたときは (削除)

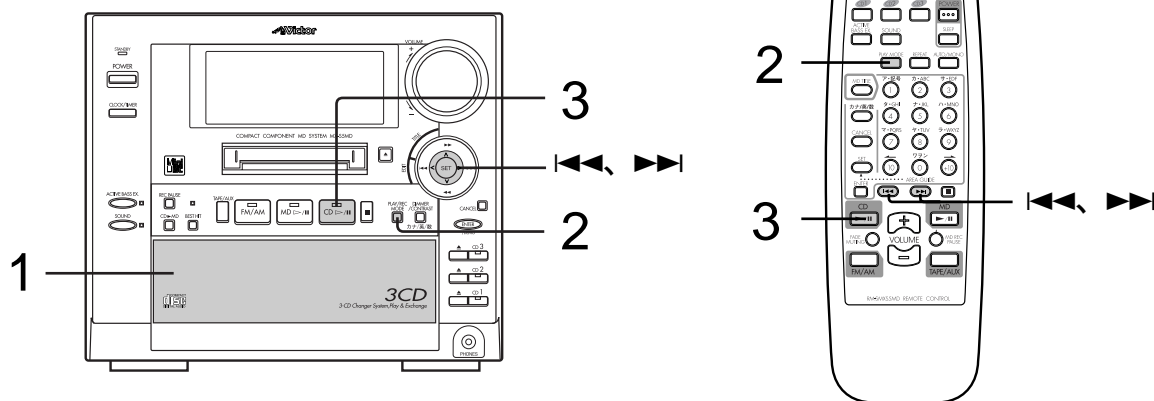
CD が停止中に CANCEL を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラム演奏のモードを解除する

CD が停止中に PLAY MODE を押して、プレイモード表示を消灯させます。

CD のランダム演奏

CDトレイに入っているCDの中から、ランダム（無作為）に演奏することができます。



1 CDを入れる

「CDを入れる」→ 29 ページ参照

- ・ ソースがCDになっていないときは、CD ▷/|| を押してから ■ を押します。

2 PLAY/REC MODE を押して RANDOM を選ぶ

- ・ リモコンを使うときは、PLAY MODE を押します。

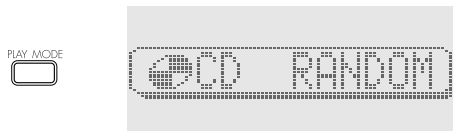
PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) を押すたびにプレイモード表示が次のように切替わります。



本体 PLAY/REC MODE を押したとき：



リモコン PLAY MODE を押したとき：



- ・ PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) は CD が停止中に操作することができます。必ず CD を停止状態にしてから操作してください。

3 CD ▷/|| を押す

- ・ 全曲の演奏が終了すると、自動停止します。
- ・ 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。
- ・ ランダム演奏中に CD トレイを開けると演奏が停止します。

ランダム演奏を途中で止める

■ を押します。
演奏を停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中に ▶▶ を押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。

◀◀ を押すと演奏中の曲の頭出しを行います。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

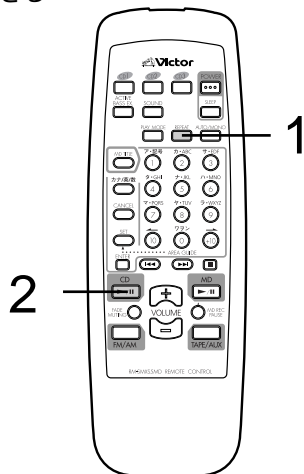
リピート演奏 → 36 ページ

ランダム演奏のモードを解除する

CD が停止中に PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) を押して、プレイモード表示を消灯させます。または、CD 1 ~ CD 3 を押すと選んだ CD からの連続演奏になり、リモコンの数字キーを押すと選んだ曲から連続演奏になります。

CDのリPEAT演奏

CDが演奏中や停止中でも設定や解除のできる3種類のリPEAT演奏があります。リモコンを使って操作します。

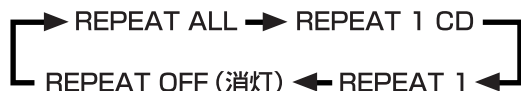


1 REPEATを押して演奏モードを選ぶ

例：REPEAT ALLを選んだとき



REPEATを押すたびにリPEAT表示が次のように切り替わります。



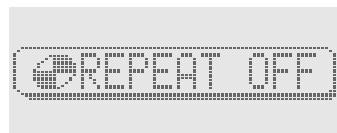
REPEAT ALL： CDトレイに入っているCDの全曲をくり返し演奏します。すべての演奏モードで選ぶことができます。

REPEAT 1 CD： 1枚のCDをくり返し演奏します。連続演奏のときだけ選ぶことができます。

REPEAT 1： 1曲だけくり返し演奏します。すべての演奏モードで選ぶことができます。

リPEAT演奏のモードを解除する

REPEATを押してリPEAT表示を消灯させます。「REPEAT OFF」を表示したあと、もとのソース表示に戻ります。



- 電源を「切」にしたときやベストヒット録音(→47ページ)にしたときも解除されます。

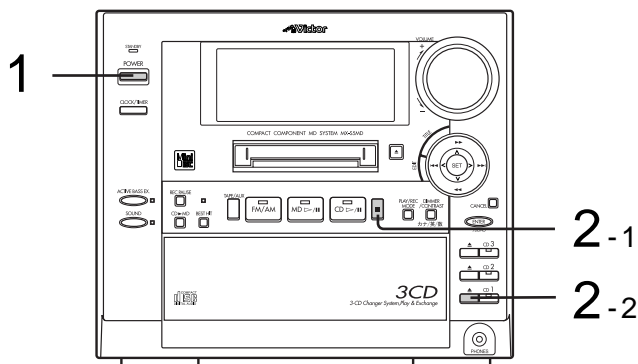
2 CD▶/||を押す

リPEAT演奏を始めます。



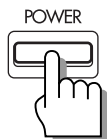
チャイルドロック機能

CDトレイとMDスロットを電子ロックして▲を押してもCDトレイが開かなかったり、MDが出てこないようにすることができます。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。本体を使って操作します。



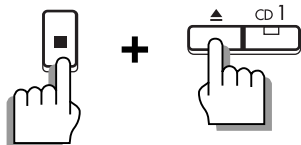
1 電源を「切」にする

電源が「入」のとき POWER を押します。



2 ■を押しながら CD1 の▲を押す

ディスプレイに「LOCKED」を表示して、CDトレイとMDスロットがロックされます。



LOCKED

チャイルドロックを解除する

操作 1. と操作 2. をもう一度行います。

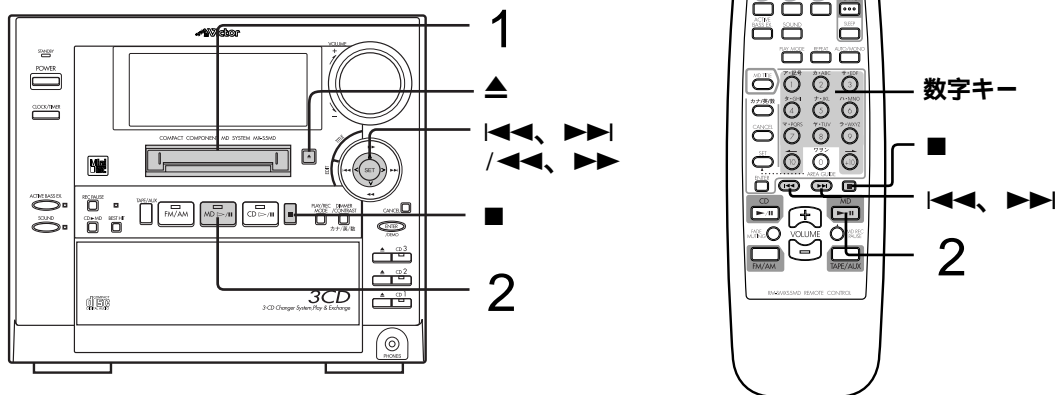
ディスプレイに「UNLOCKED」を表示して、CDトレイとMDスロットのチャイルドロックを解除します。

UNLOCKED

- チャイルドロックするとCD 1 ~ CD 3 の▲を押してもディスプレイに「LOCKED」を表示して、トレイは出てきません。MDも同様にチャイルドロックされ、▲を押してもディスプレイに「LOCKED」を表示して、MDは出てきません。
- 電源が「切」のときに▲を押すとディスプレイに「LOCKED」を表示します。電源は「切」のままです。

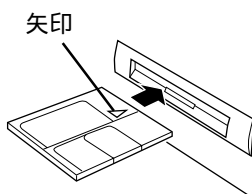
MD を聞く

MD を聞くための基本操作です。



1 MD (ミニディスク) を入れる

MD に表示されている矢印の方向に、矢印のある面を上にして差し込みます。途中まで入れると自動的に引きこまれます。



MD 挿入 :



読み込み中 :



トータル表示 :



- ディスクタイトルのついている MD のとき、ソースが MD になっているとディスクタイトルも表示 (長いときはスクロール表示) します。

ご注意 : すでに MD が入っているときは、MD が入りません。無理に押し込むと、故障の原因となります。

2 MD ▷/|| を押す

演奏を始めます。



本体

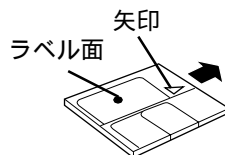


リモコン

- 曲タイトルがついているときは、タイトルも表示します。

MD の正しい取り扱い方

- MD は ▷ などの矢印に従って正しく入れてください。



間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。故障の原因となります。

MD 演奏中のディスプレイ表示

演奏中：



停止中：



一時停止中：

点滅



MD を停止する

途中で MD の演奏を停止するときは、■を押します。



本体



リモコン

MD を取り出す

MD を取り出すときは、▲を押します。



ご注意：MD スロットから出てきた MD は、必ず本体から抜き取っておいてください。

演奏を一時停止するとき

演奏中に MD ▷/|| を押します。

もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。



本体



リモコン

曲ごとの演奏時間を確認する

演奏が停止している時に ▶▶I (次の曲) または I◀◀ (前の曲) を押します。

曲ごとの演奏時間を表示するので、1 曲録音などに便利です。

表示した曲を演奏するときは、MD ▷/|| を押します。その曲から演奏を始めます。

曲の頭出し

▶▶I (次の曲の頭出し) または I◀◀ (演奏中の曲の頭出し) 方向に押します。

押すたびに 1 曲ずつ変化します。

本体の ▶▶I または I◀◀ 方向に押し続けると連続して変化します。

リモコンの ▶▶I または I◀◀ は停止中に押し続けると連続して変化します。



本体



リモコン

曲をダイレクトに演奏する

リモコンの数字キーを使います。

1 ~ 10 を指定するとき：

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

11 ~ 20 を指定するとき：

+ 10 キーを押してから、

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

21 ~ 30 を指定するとき：

+ 10 キーを 2 回押してから、

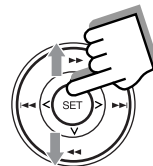
1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

ア・記号	カ・ABC	サ・EDF
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10		+10

早送り / 早戻し

本体：

演奏中にジョイコントロールを ▶▶I (早送り) または I◀◀ (早戻し) 方向に押し続けます。



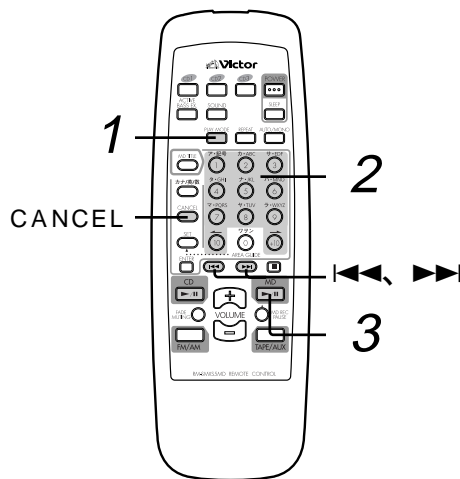
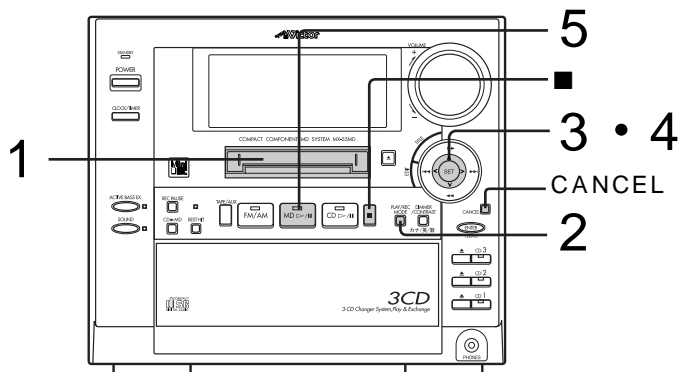
リモコン：

演奏中に ▶▶I (早送り) または I◀◀ (早戻し) を押し続けます。



MD のプログラム演奏

お好きな曲をお好みの順番で聞くことができます。



1 MD を入れる

「MD を聞く」→ 38 ページ参照

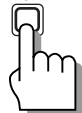
- ・ ソースが MD になっていないときは、MD ▷/|| を押してから ■ を押します。

2 PLAY/REC MODE を押して MD PROGRAM を選ぶ

PLAY/REC MODE を押すたびにプレイモード表示が次のように切り替わります。



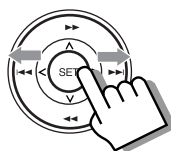
PLAY/REC
MODE



- ・ すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号を表示します。
- ・ PLAY/REC MODE は、MD が停止中に操作することができます。PLAY/REC MODE を操作するときは、必ず MD を停止状態にしてください。

3 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し曲を指定する

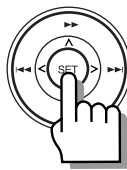
例：5 曲目を指定したとき



曲番号
プログラム番号
曲番号が点滅します。

4 SET を押す

演奏時間



プログラム番号 (STEP) の 1 が表示されます。

- ・ 演奏時間はプログラムした曲の合計時間が表示されます。演奏時間が 149 分 59 秒を超えると「-- :--」表示になります。
- ・ 操作 3. ~ 操作 4. をくり返してプログラムしていきます。最大 32 曲までプログラムすることができます。33 曲目を指定すると「MD PROGRAM FULL」を表示します。



5. MD ▶/|| を押す

- プログラムした全曲の演奏が終了すると、自動停止します。



リモコンを使ってプログラム演奏する

あらかじめ MD ▶/|| を押してから ■ を押してソースを MD にしておきます。

1. PLAY MODE を押して MD PROGRAM を選ぶ



2. 1 ~ 10、+10 キーを使って曲番号を指定する

1 ~ 10 を指定するとき：

1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

11 ~ 20 を指定するとき：

+ 10 キーを押してから、1 ~ 10 キーのいずれかを押す。



21 ~ 30 を指定するとき：

+ 10 キーを 2 回押してから、1 ~ 10 キーのいずれかを押す。

- 操作 2. をくり返して 32 曲までプログラムすることができます。

3. MD ▶/|| を押す

プログラム演奏を開始します。



曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。MD が停止中に ▶▶ (次の曲) または ◀◀ (前の曲) を押します。



リモコン

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。

リピート演奏 → 43 ページ参照

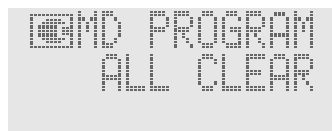
プログラムを間違えたときは (削除)



MD が停止中に CANCEL (本体またはリモコン) を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラム内容をすべて削除するには

MD が停止中に本体の CANCEL を「MD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けます。



- 電源を「切」にしたときも、プログラムの内容はすべて削除されます。
- リモコンの CANCEL ではできません。

プログラムの取り消し

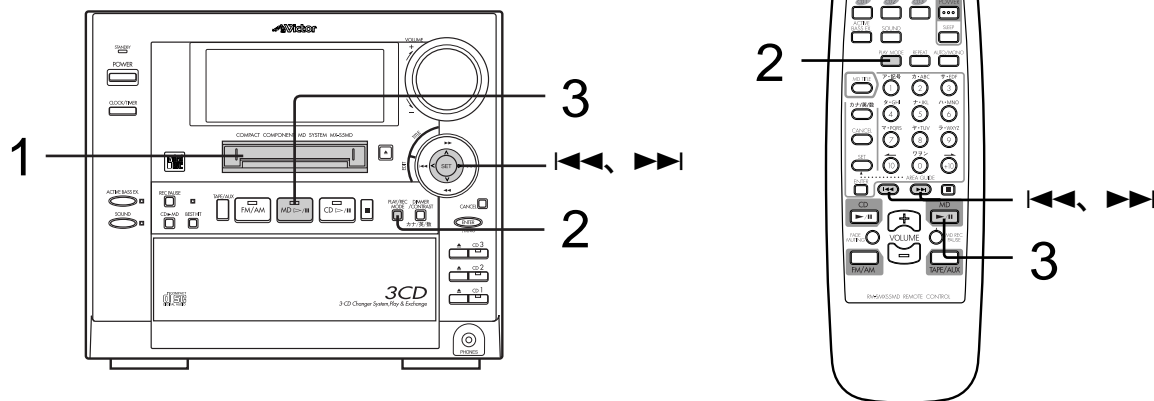
▲ (MD 取り出し) を押します。プログラムは取り消されます。

プログラム演奏のモードを解除する

MD が停止中に、PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) を押して、プレイモード表示を消灯させます。

MD のランダム演奏

ランダム(無作為)な曲順に演奏をすることができます。



1 MDを入れる

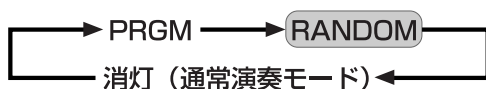
「MDを聞く」→ 38 ページ参照

- ・ ソースがMDになっていないときは、MD▷/|| を押してから ■ を押します。

2 PLAY/REC MODE を押して RANDOM を選ぶ

- ・ リモコンを使うときは、PLAY MODE を押します。

PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) を押すたびにプレイモード表示が次のように切り替わります。



本体 PLAY/REC MODE を押したとき：



リモコン PLAY MODE を押したとき：



- ・ PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) は MD が停止中に操作することができます。必ず MD を停止状態にしてから操作してください。

3 MD ▷/|| を押す

- ・ 全曲の演奏が終了すると、自動停止します。
- ・ 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。

ランダム演奏を途中で止める

- を押します。
- 演奏を停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中にジョイコントロールを ▶▶I 方向に押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。

◀◀I 方向に押すと演奏中の曲の頭出しを行います。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

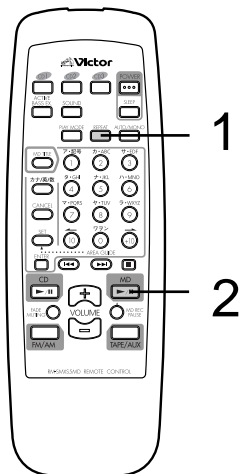
リピート演奏 → 43 ページ参照

ランダム演奏のモードを解除する

MD が停止中に PLAY/REC MODE または PLAY MODE (リモコン) を押して、プレイモード表示を消灯させます。またはリモコンの数字キーを押すと、選んだ曲から通常演奏になります。

MDのリピート演奏

MDが演奏中や停止中でも設定や解除のできる2種類のリピート演奏があります。リモコンを使って操作します。

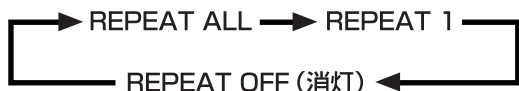


1 REPEATを押して演奏モードを選ぶ

例：REPEAT ALLを選んだとき



REPEATを押すたびにリピート表示が次のように切替わります。

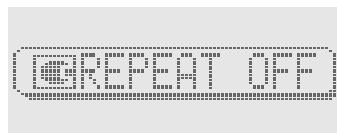


REPEAT ALL： MDの全曲をくり返し演奏します。すべての演奏モードで選ぶことができます。

REPEAT 1： 1曲だけくり返し演奏します。すべての演奏モードで選ぶことができます。

リピート演奏のモードを解除する

REPEATを押してリピート表示を消灯させます。「REPEAT OFF」を表示したあと、もとのソース表示に戻ります。



- 電源を「切」にしたときやベストヒット録音(➡47ページ参照)にしたときも解除されます。

2 MD▶/||を押す

リピート演奏を始めます。



録音をする前に

本機では、CD やラジオ放送、TAPE や AUX デジタル入力端子に接続した外部機器の音を MD に録音するときには次のようなモードを用意しています。

録音の種類

CD シンクロ録音 → 46 ページ

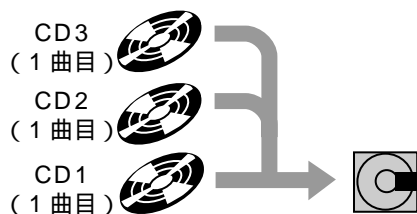
1 枚の CD をそのまま MD にワンタッチでステレオ録音します。あらかじめプログラムをしておくと、オリジナルの MD を作成することができます。



ボタンを押すと CD と MD が同時にスタート

ベストヒット録音 → 47 ページ

CD の 1 曲目だけを続けて MD に録音します。ヒット曲集などを簡単に作成することができます。



ステレオ録音 → 50 ページ

MD にステレオ録音します。すべてのソースを録音するときには使うことができます。

サウンドシンクロ録音 → 52 ページ

カセットデッキや外部機器の演奏開始に合わせてシンクロ録音します。サウンドシンクロ録音は、カセットデッキや外部機器の音声信号に反応して MD の録音がスタートします。

ソースが「TAPE」または「AUX DIGITAL」のときに使うことができます。

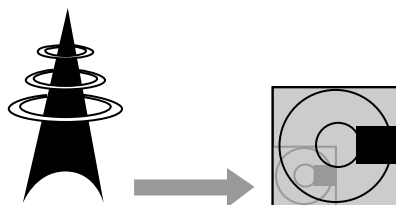


音声信号に反応して録音スタート

モノラル録音（長時間録音） → 54 ページ

通常ステレオで使われる音声トラックをモノラルにして録音します。音声はモノラルになりますが、MD のパッケージに表示されている 2 倍の時間で録音することができます。

ソースが「FM/AM」のときに使うことができます。FM ステレオ放送をモノラル録音するときは、自動的にモノラル音声に変換された音が録音されます。



モノラル音声で
2 倍の時間で録音

録音をする前に

- MDには最大254曲まで録音することができます。
- CDの音やAUXデジタル入力端子に接続したデジタル機器（BSチューナーやDATなど）は、デジタル信号のまま録音されますが、テープやラジオ放送の音はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
また、本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しているため、デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく、聞いたり録音することができます。ただし、DVDなどのDolby DigitalやDTSのストリーム信号には対応していません。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して録音されます。新たに録音し直すときは、ALL ERASE（⇒66ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます。（⇒68ページ参照）
- TAPE以外の録音レベルは自動で設定されますが、TAPEの入力レベルは切換えることができます。（⇒49ページ参照）
- 録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。
- 録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」表示中は注意してください。MDが使えなくなります。

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間の部分が「曲」としてみなされます。

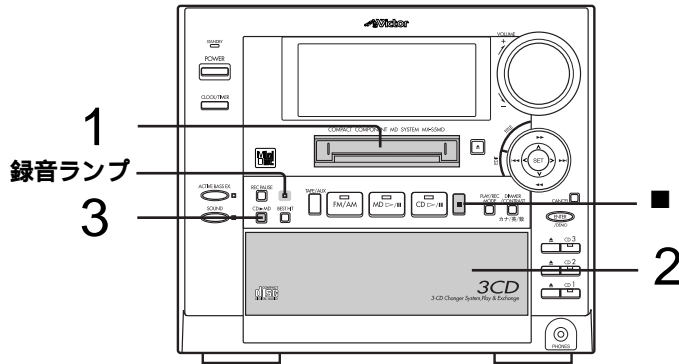
- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつかます。CD以外のデジタルソースのときも、トラックマークを自動的につけます。
- FM放送やテープなどのアナログソースの録音中は、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークをつけます。
- CD以外のソースに手動でトラックマークをつけるときは、録音中につけたいところで本体のSETを押してつけます。



例：FM放送を録音中にSETを押したとき

CD シンクロ録音 (CD から録音)

CD をワンタッチで簡単にステレオデジタル録音することができます。



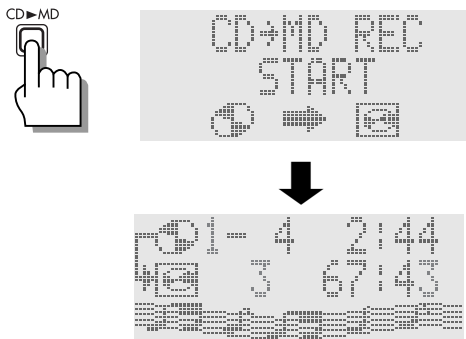
1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 CD の準備をする

CDを入れて、録音するCDのCD 1 ~ CD 3のいずれかを押してから ■ を押します。ソースをCDにしてから、CDを停止状態にします。必要に応じてプログラムなどの操作をします。

3 CD ▶ MD を押す

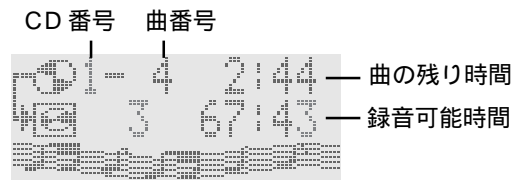
CDとMDが同時に動作し、シンクロ録音を始めます。録音ランプが点灯します。



- 録音が終了するとCDとMDが自動停止します。



録音中のディスプレイ



録音を途中で止める

録音を途中で停止するときは、■を押します。



演奏中の曲だけを録音する (1曲録音)

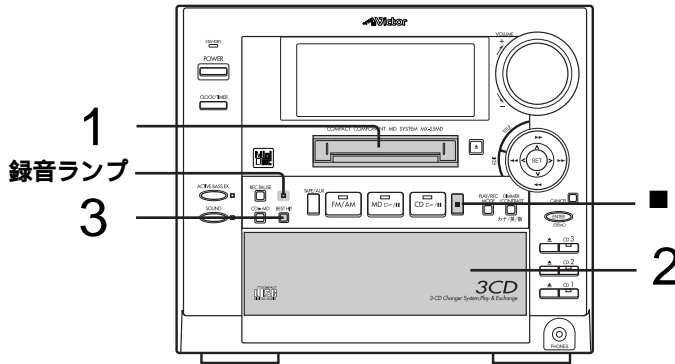
CDを演奏中または一時停止中にCD ▶ MDを押します。演奏中の曲の頭に帰り、その曲だけを録音します。録音が終了すると、CDとMDは自動停止します。

CDをプログラムして録音する

- 録音用MDを入れる
- CDを入れ、ソースをCDにしてから停止状態にする
- CDのプログラム操作をする (⇒ 32 ページ参照)
 - プログラムが終わってもCD▷/IIIは押さないでください。
- CD ▶ MD を押す
CDをプログラム順に録音します。

ベストヒット録音 (CD から録音)

CD の 1 曲目だけを続けてステレオデジタル録音します。
ヒット曲集などを作るときに便利です。



1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 CD の準備をする

CD を入れます。

- CD1 には必ずCDを入れてください。CD1 に CDが入っていないとベストヒット録音をすることができません。

3 BEST HIT を押す

CD と MD が同時に動作し、シンクロ録音を始めます。

録音ランプが点灯します。



- CD1 から録音を始めます。
- 録音が終了するとCDとMDが自動停止します。録音中にCDを交換したときは、CD演奏順の最後に交換したCDの録音が終了すると、自動停止します。

4 枚以上連続して録音するには

1 枚の録音が終了したら

1. 終了した CD を入れ換える
2. 順次終了した CD を入れ換える

:

CD 演奏順の最後に入れ換えた CD の録音が終了すると、自動停止します。

録音を途中で止める

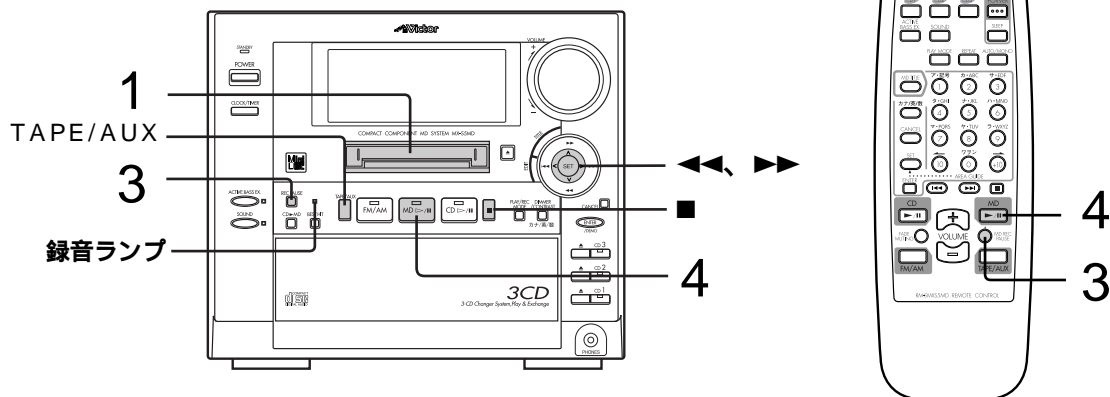
録音を途中で停止するときは、■を押します。



録音する

録音をする (REC PAUSE を使った録音)

REC PAUSE(録音一時停止)を使った録音操作を説明します。



1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 録音するソースを準備する

CDの音を録音するとき:

録音するCDの入っているCD番号ボタンを押してから、■を押します。ソースをCDにして停止状態にします。

ラジオを録音するとき:

FM/AMを押してから、録音する放送局を受信します。

接続した機器の音を録音するとき:

録音する機器の電源を入れて録音の準備をしてから、TAPE/AUXを押す。

- ・ ソースを切換えると、録音モードはステレオ録音モードになります。詳しくは、49ページの「録音モードについて」をご覧ください。

3 REC PAUSE を押す

リモコンを使うときは、MD REC PAUSEを押します。

録音ランプが点滅します。



本体



リモコン

4. MD ▷/|| を押す

録音を開始します。

録音ランプの点滅が点灯に変わります。

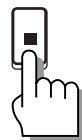
CDの音を録音するとき、CD▷/||を押します。テープの音を録音するとき、テープの再生操作をします。

- ・ 録音を始めるとMDの録音残量時間が減っていきます。
- ・ MDの録音残量時間がなくなると、録音が自動停止します。

録音を途中で止める

録音を途中で止めるときは、■を押します。

CDを録音しているときは、CDも同時に停止します。



本体



リモコン

録音を一時停止するとき

録音中にREC PAUSEまたはMD REC PAUSE(リモコン)を押します。

録音ランプが点滅します。



本体



リモコン

録音を再開するときは、MD ▷/||またはMD ▶/|| (リモコン)を押します。

録音モードについて

録音モードには、ステレオ録音、サウンドシンクロ録音、モノラル録音（長時間録音）があります。選ぶことができる録音モードは、録音するソースによって違います。

ステレオ録音モード：

すべての録音ソースで選ぶことができます。ただし、録音ソースにCDを選んでいるときの録音モードはステレオ録音に固定されます。他の録音モードに変更することはできません。

サウンドシンクロ録音モード：

録音ソースが「TAPE」または「AUX DIGITAL」のときに選ぶことができます。サウンドシンクロ録音が終了すると、録音モードはステレオ録音モードになります。

モノラル録音モード：

録音ソースが「FM/AM」のときに選ぶことができます。

同じソースを続けて録音するときは、選んだ録音モードのまま録音されますが、**録音するソースを変える、MDを交換する、電源を「切」にする**、の操作をすると自動的にステレオ録音モードになります。

例1：ラジオ番組をモノラル録音で録音したあと、受信バンドを変えずに放送局だけ変えたときの録音モードは、モノラル録音モードのままになっています。FM/AMを押して受信バンドを変えたり、MDを交換すると自動的にステレオ録音モードになります。

例2：テープの音をサウンドシンクロ録音で録音し、録音が終了してから別のテープを録音するときは、録音モードが自動的にステレオ録音モードになります。

録音モードの選び方

1. 録音するソースを選ぶ
2. PLAY/REC MODE を押す
3. ジョイコントロールを ▶▶ または ◀◀ 方向に押し、録音モードを選んでから SET を押す

詳しいことは「ステレオ録音をする」(⇒ 50 ページ)、
「サウンドシンクロ録音をする」(⇒ 52 ページ)、
「モノラル録音をする」(⇒ 54 ページ)
をご覧ください。

テープの入力レベルを切換える

テープを録音するときの入力レベルを切換えることができます。テープからMDに録音した音が、他のソースから録音した音よりも小さく聞こえたり、大きすぎて歪んでいるときに入力レベルを切換えます。

1. ソースを「TAPE」にする

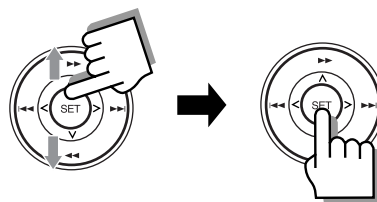
TAPE/AUX を押して「TAPE」を選びます。



2. 「TAPE INPUT」を表示するまでPLAY/REC MODE を押し続ける（約2秒）



3. ジョイコントロールを ▶▶ または ◀◀ 方向に押し、レベルを選んでから SET を押す



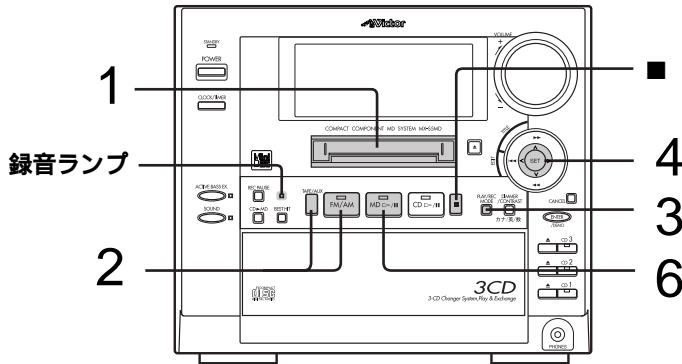
Level 1：テープからの入力信号レベルを小さくします。テープから録音した音が大きすぎたり歪んだりしているときに選びます。

Level 2：テープからの入力信号レベルを大きくします。テープから録音した音が小さすぎるときに選びます。

初期設定は Level 1 になっています。

ステレオ録音をする

ラジオや接続した機器の音をステレオ音声で録音します。



1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 録音するソースを選ぶ

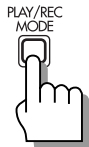
ラジオの音を録音するとき：
FM/AMを押してから、録音する放送局を受信します。

接続した機器の音を録音するとき：
録音する機器の電源を入れて録音の準備をしてから、TAPE/AUX を押す。

次のようなときは、操作 5. に進みます。録音モードはステレオ録音が選ばれています。

- 新たに録音ソースを選んだとき。
- 電源を「入」にしたすぐあと。
- サウンドシンクロ録音が終わったあと。

3 PLAY/REC MODE を押す



録音ソースがTAPEまたはAUX DIGITAL のとき

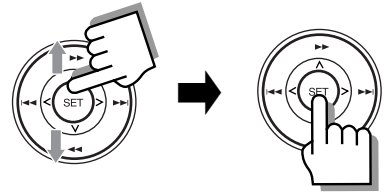


録音ソースがFM/AM のとき

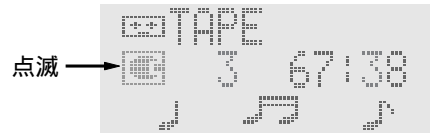


4 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、STEREOを選んでからSETを押す

録音ランプが点滅します。



例：テープを録音するとき



5 録音するソースを演奏状態にする



ご注意：ソースがCDになっているときは、PLAY/REC MODEを押すと録音モードではなく、CDの演奏モードを変えます。

6 MD ▷/|| を押す

録音を開始します。

録音ランプの点滅が点灯に変わります。



- 録音を始めるとMDの録音残量時間が減っていきます。
- MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

録音を止める

録音を止めるときは、■を押します。



本体



リモコン

録音を一時停止するとき

録音中にREC PAUSEまたはMD REC PAUSE(リモコン)を押します。

録音ランプが点滅します。

REC PAUSE



本体



リモコン

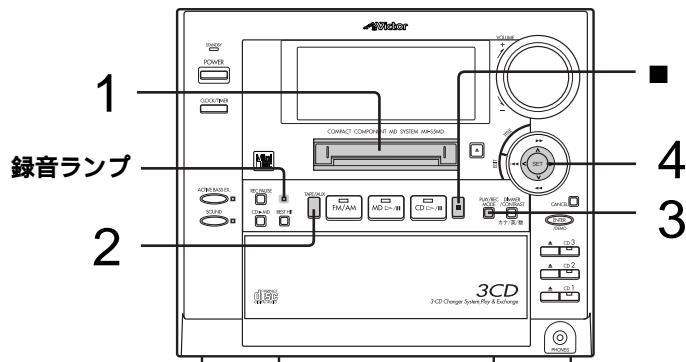
録音を再開するときには、MD ▷/|| または MD ▶/|| (リモコン) を押します。

お知らせ

テープの音を録音するときの録音レベルを切換えるときは、「テープの入力レベルを切換える」(➡49ページ)をご覧ください。

サウンドシンクロ録音をする (テープ/AUXからの録音)

TAPE端子やAUX デジタル端子に接続した機器の音を演奏開始に合わせてシンクロ録音します。ステレオ音声で録音されます。



1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 TAPE/AUX を押して録音するソースにTAPEまたはAUX DIGITALを選ぶ

テープを入れるなどして録音する機器の準備もします。

録音する機器は、停止状態にしておきます。

- 録音ソースの演奏が始まっているとうまく録音できません。

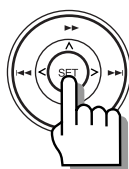
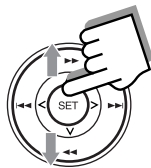
3 PLAY/REC MODE を押す



- 「REC MODE」が表示されます。

4 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、SOUND SYNCを選んでからSETを押す

録音ランプが点滅します。



例：テープを録音するとき

53 ページへ続く

5 録音ソースを演奏状態にする

録音ソースの演奏開始に合わせてサウンドシンクロ録音を開始します。

録音を開始すると録音ランプの点滅が点灯に変わります。



- 録音を始めると MD の録音残量時間が減っていきます。
- MD の録音残量時間がなくなると、自動停止します。

録音を途中で止める

録音を途中で止めるときは、■を押します。



本体



リモコン

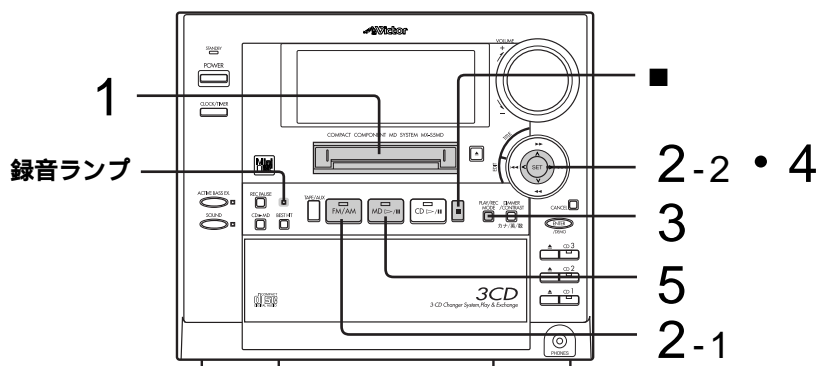
お知らせ

- サウンドシンクロ録音は、ソース機器の音声信号に反応して自動的に録音を始めます。接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、ステレオ録音をしてください。「ステレオ録音をする」⇒ [50] ページ参照)
- 録音ソースの音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。
- 録音が終了すると録音モードは、自動的にステレオ録音モードになります。
- テープの音を録音するときの録音レベルを切換えるときは、「テープの入力レベルを切換える」(⇒ [49] ページ参照)をご覧ください。
- DATからの音をサウンドシンクロ録音すると、録音を始めた曲番号(トラックマーク)が2つつきますが、これは故障ではありません。JOIN 機能(⇒ [60] ページ参照)でつないでください。

モノラル(長時間)録音をする(ラジオから録音)

ラジオの長時間番組などをモノラル音声で録音します。FMステレオ放送をモノラル録音するときは、自動的にモノラル音声に変換して録音します。

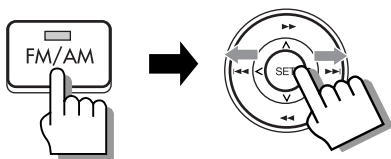
MDパッケージに表示してある録音時間の2倍の時間で録音することができます。



1 録音用MD(ミニディスク)を入れる

2 FM/AM を押してから録音する放送局を受信する

FM/AM を押してから、ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押して放送局を受信します。(→24ページ参照)



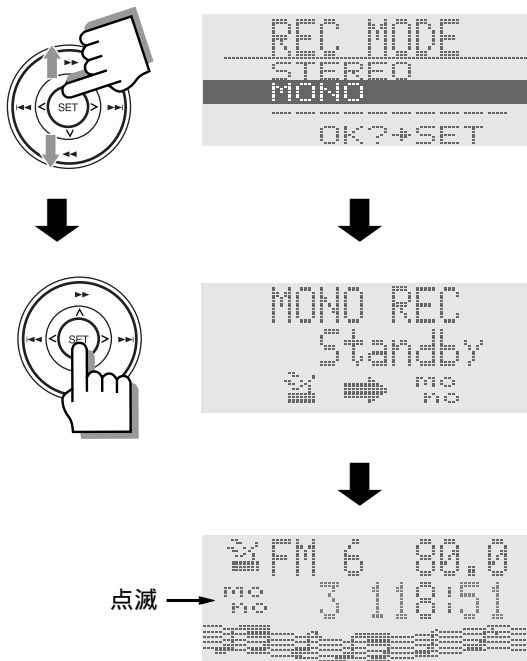
3 PLAY/REC MODE を押す



・「REC MODE」が表示されます。

4 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押してMONOを選んでからSETを押す

録音ランプが点滅します。



→ 55 ページへ続く

5 MD ▷/|| を押す

録音を開始します。

録音を開始すると録音ランプの点滅が点灯に変わります。



- 録音を始めると MD の録音残量時間が減っていきます。
- MD の録音残量時間がなくなると、自動停止します。
- FMステレオ放送をステレオ受信 (AUTO 受信) しているときは、自動的にモノラル音声に変換して録音します。録音が終了するとステレオ音声に戻ります。
- 同じ受信バンドの放送局を続けてモノラル録音するときは、REC PAUSE を押します。
- FM AUTO をモノラルに切り換えただけでは、長時間録音はできません。

録音を途中で止める

録音を途中で止めるときは、■ を押します。



本体



リモコン

録音を一時停止するとき

録音中に REC PAUSE または MD REC PAUSE (リモコン) を押します。

録音ランプが点滅します。

REC PAUSE



本体



リモコン

録音を再開するときは、MD ▷/|| または MD ▶/|| (リモコン) を押します。

モノラル録音の解除

モノラル録音が終了してから、

- ソースを切換える
- FM/AM を押してラジオの受信バンドを切換える
- MD を取り出す
- 電源を「切」にする

の操作をするとモノラル録音モードは解除されます。

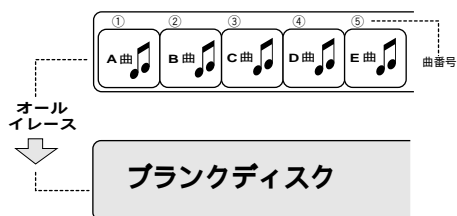
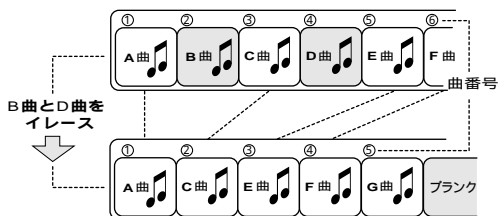
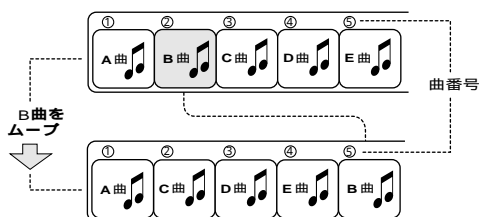
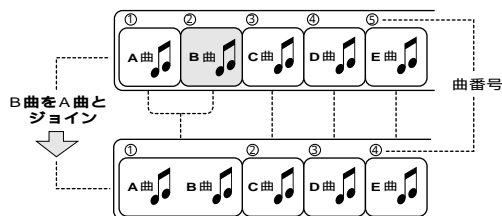
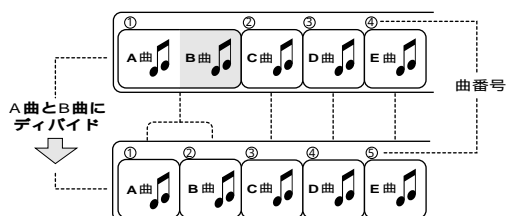
お知らせ

REC(録音)タイマーを使ってモノラル録音することもできます。(⇒79 ページ参照)

MD 編集機能の紹介

録音後に各種の編集をすることができます。編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲消す」、「タイトルをつける」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。

- MDのプレイモード表示が「PROGRAM」または「RANDOM」のときは、MD編集の操作をすると、プログラム内容が削除されます。
- MDが誤消去防止状態になっているときは、「DISC PROTECTED」を表示してMD編集および「タイトルをつける」の操作をすることができません。誤消去防止つまみをずらしてから操作を行ってください。
(→ 98 ページ参照)



曲を分ける (DIVIDE) → 58 ページ参照

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。放送などを連続して録音しておき、あとから曲ごとに分けることができます。

曲をつなげる (JOIN) → 60 ページ参照

トラックマークを削除して、となりあった曲を1つの曲番号にまとめます。クラシック曲などで曲の途中に誤ってトラックマークが付いているとき使うと便利です。

曲を移動する (MOVE) → 62 ページ参照

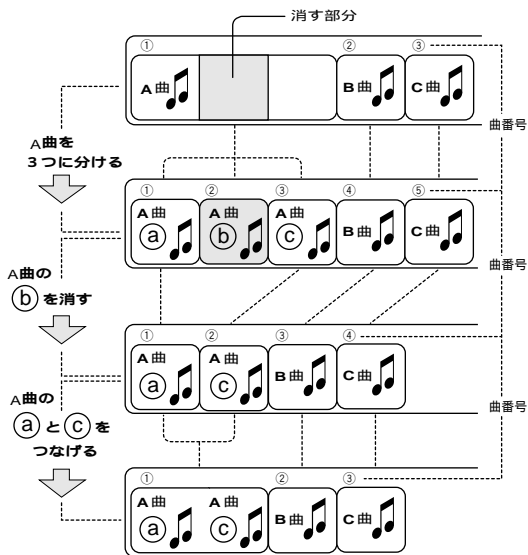
お好みの順に曲を移動して並び変えます。

曲を消す (ERASE) → 64 ページ参照

消したい曲を一度に15曲まで消すことができます。消したあとは、後ろの曲が前につめられ曲番号が自動的に減少します。

全曲消す (ALL ERASE) → 66 ページ参照

ディスクの内容を全て消去し、ブランクディスクにします。



組み合わせる

例えば、「DIVIDE」、「ERASE」、「JOIN」の3つを組み合わせると、曲の一部だけを消すことができます。CMやナレーションなどのカットに便利です。

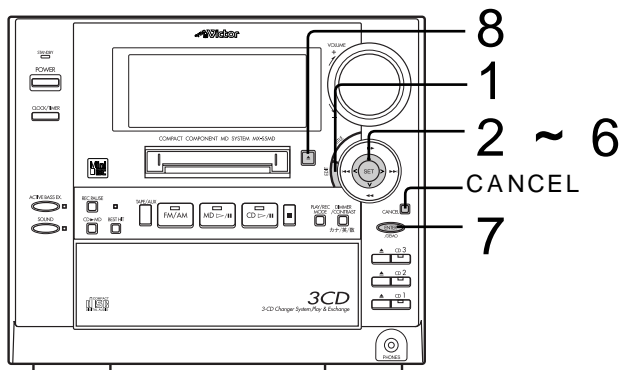
タイトルをつける (TITLE) ⇒ 68 ページ参照

MDや曲にタイトルをつけます。つけたタイトルはディスプレイに表示して確認することができます。1タイトルには最大64文字まで、文字の種類は「カタカナ」、「英大文字/英小文字」、「記号/数字」があります。

曲を分ける (DIVIDE)

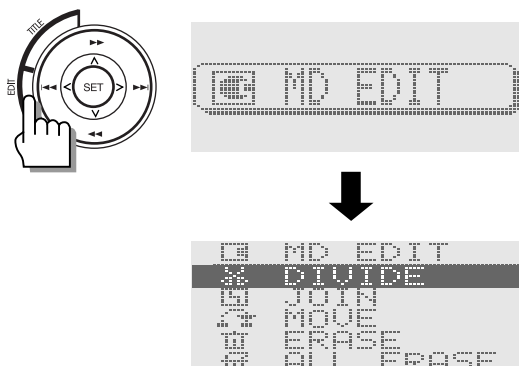
ディバイド

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分割することができます。メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分割した曲以降の曲番号は自動的にふえます。



1 EDIT を押す

「MD EDIT」をパノラマ表示してから、編集画面を表示します。



- ・「DIVIDE」にならないときは、ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、「DIVIDE」を選びます。

3 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し分けてたい曲を選ぶ

▶▶または◀◀方向に押さないと同じ曲をくり返し演奏します。

例：3曲目を選んだとき



- ・▶▶または◀◀方向に押し分けてたい部分に早送り / 早戻しすることもできます。
- ・曲番号を間違えたときは、CANCEL を押し、もう一度曲番号を指定します。

2 SET を押す

SET を押すと MD が停止中は、MD の 1 曲目から演奏を始めます。演奏中は、そのまま演奏を続けます。



4 分けてたいところで SET を押す

分けてたいところから 3 秒間くり返し演奏します。



- ・希望どおりに分けられたときは、操作 6. に進みます。
- ・曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、操作 5. に進みます。分ける場所を微調節することができます。

5 ▶▶または◀◀方向に押しして微調節する

± 128 ポジション (約 ± 8 秒) の範囲で調節することができます。

トラックマークが少しずつ移動し、移動した場所から 3 秒後までをくり返し演奏します。

例：+ 20 ポジション微調節したとき



```
* 3 1:41
  0V?E=
Position+ 20
OK?+SET
NO?+CANCEL
```

- 微調節が終了したら、**操作 6.**に進みます。
- 分けないところをやり直したいときは、CANCEL を押します。

6 SET を押す



```
* DIVIDE
  YES?+ENTER
  NO?+EDIT
```

- 分割しないときは、EDIT を押します。

7 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」を表示します。

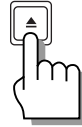


```
# EDITING
```

8 ▲を押して MD を取り出す

MD が出てくる前に編集した内容を MD に記録します。

MD に記録中はディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。



```
WRITING
```

- MD に編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 編集を途中で止めるときは、EDIT を押します。
- もとに戻すときは、JOIN (ジョイン) 機能を使います。

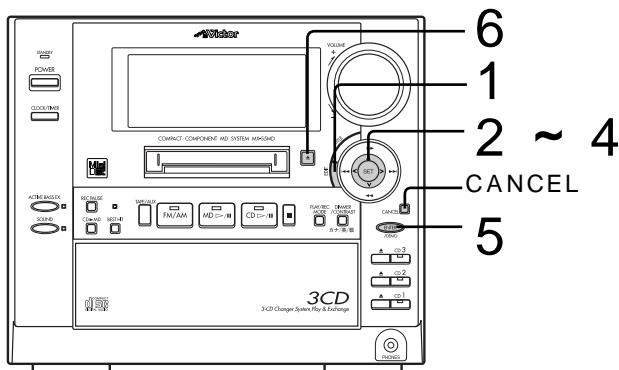
「曲をつなげる (JOIN)」 → [60](#) ページ参照

お知らせ

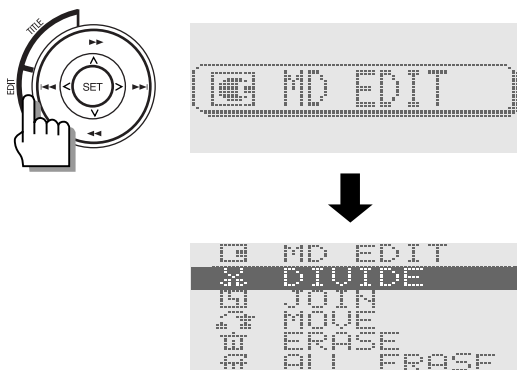
- 再生専用 MD で編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- MDによっては「曲をわけることができないものがあります。(例えば、254 曲録音してあるものなど)このようなMDのときは、**操作 4.**でSETを押すと、「DISC FULL」を表示します。

曲をつなげる (JOIN) ジョイン

不要なトラックマークを取り除いてとなりあう2つの曲を1曲にして曲をまとめることができます。JOINをおこなった以降の曲の曲番号は自動的に減少します。



1 EDIT を押す
編集画面を表示します。

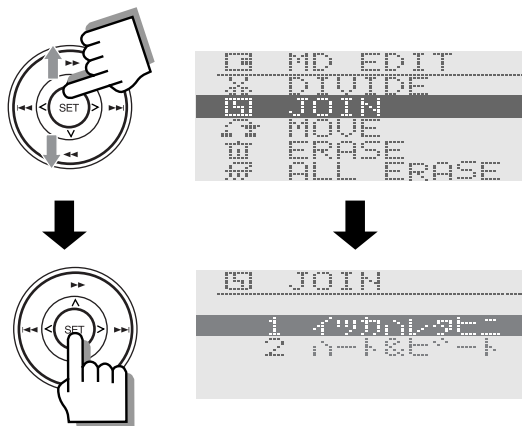


3 ▶▶ または ◀◀ を押してつなげたい曲を選ぶ

例：2曲目と3曲目をつなげるときは、3曲目にカーソルを持っていきます。前の曲とつなげることができます。



2 ジョイコントロールを ▶▶ または ◀◀ 方向に押して JOIN を選んでから SET を押す



4 SET を押す



5 ENTER を押す
ディスプレイに「EDITING」を表示します。

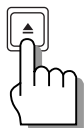


・ つなげたい曲を間違えたときは、CANCELを押します。操作 3. に戻ります。

6 ▲を押してMDを取り出す

MDが出てくる前に編集した内容をMDに記録します。

MDに記録中はディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。



- MDに編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 編集を途中で止めるときは、EDITを押します。
- もとに戻すときは、DIVIDE(ディバイド)機能を使います。
「曲を分ける(DIVIDE)」→ [58](#) ページ参照

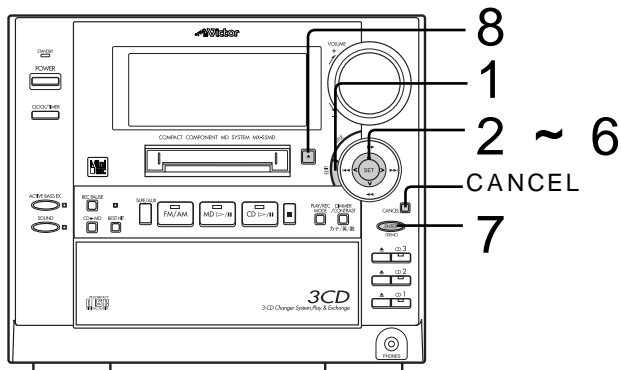
お知らせ

- 再生専用MDで編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- MDによっては「曲をつなげる」ことができないものがあります(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)。このようなMDを入れてEDITを押すとディスプレイに表示する編集表示は次のようになります。

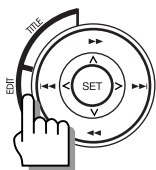


曲を移動する (MOVE) ムーブ

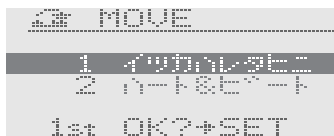
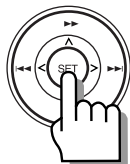
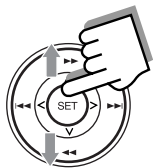
移動したい曲と移動先を選んで曲を並び変えていきます。



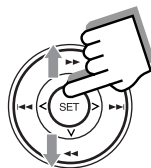
1 EDIT を押す
編集画面を表示します。



2 ジョイコントロールを▶▶ または ◀◀ 方向に押して MOVE を選んでから SET を押す



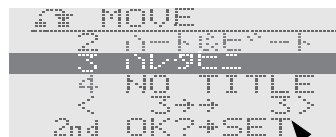
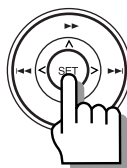
3 ▶▶ または ◀◀ 方向に押して移動する曲を選ぶ



例：3 曲目を移動するとき



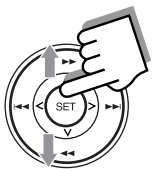
4 SET を押す



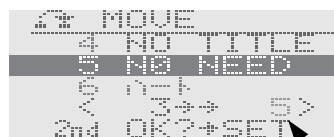
点滅

・ 曲番号を間違えたときはCANCELを押してから、もう一度曲番号を選びます。

5 ▶▶ または ◀◀ 方向に押して移動先を選ぶ

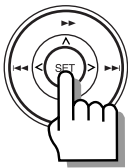


例：移動先を5曲目にしたとき



点滅

6 SET を押す



7 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」を表示します。



- 曲番号を間違えたときは、CANCELを押します。CANCELを押すと操作3.に戻ります。

8 ▲を押してMDを取り出す

MDが出てくる前に編集した内容をMDに記録します。

MDに記録中はディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。



- MDに編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 編集を途中で止めるときは、EDITを押します。

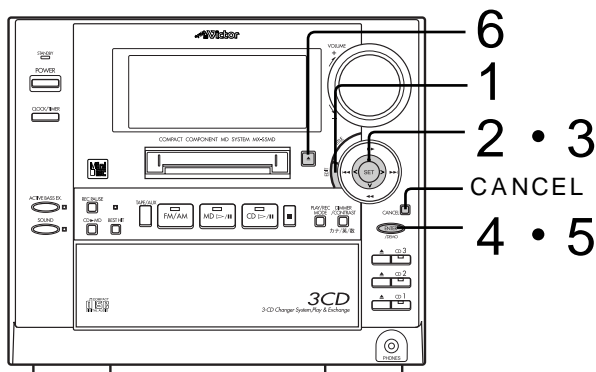
お知らせ

- 再生専用MDで編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- MDによっては「曲を移動する」ことができないものがあります(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)。このようなMDを入れてEDITを押すとディスプレイに表示する編集表示は次のようになります。

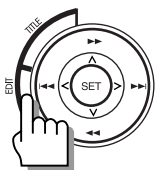


曲を消す (ERASE) イレース

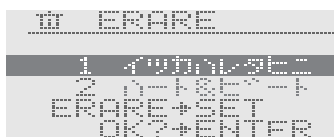
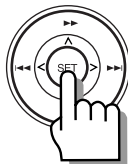
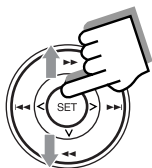
指定した曲を消します。最大 15 曲まで 1 回の操作で消すことができます。
曲番号は自動的に減ります。



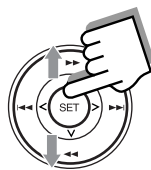
1 EDIT を押す
編集画面を表示します。



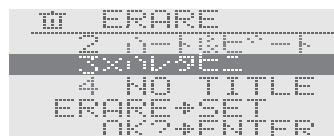
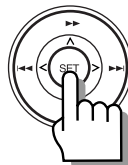
2 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、ERASEを選んでからSETを押す



3 ▶▶または◀◀方向に押し、消す曲を選んでからSETを押す



例：3 曲目を消すとき



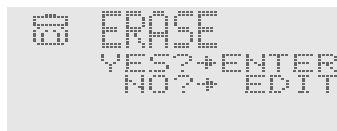
SETを押すと曲番号を曲タイトルの上に「x」が表示されます。

「x」をつけた曲を消します。

- 操作 3. をくり返して、最大 15 曲まで消す曲を選ぶことができます。
- 曲番号を間違えたときは、ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、消さない曲を選んでCANCELを押し、「x」を消します。続けて新たに消す曲を選ぶときは、もう一度曲番号を選びます。

65 ページへ続く

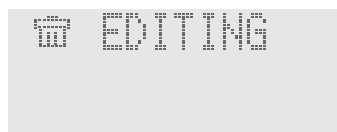
4 消す曲をすべて選んだら ENTER を押す



選んだ曲を消さないときは、EDIT を押します。
EDIT を押すと初期画面に戻ります。

5 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」を表示します。



6 ▲を押して MD を取り出す

MD が出てくる前に編集した内容を MD に記録します。

MD に記録中はディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。



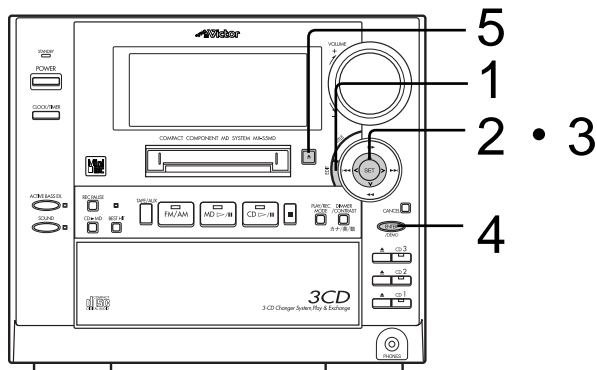
- MD に編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 途中で止めるときは、EDIT を押します。

ご注意：一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入った MD は、誤消去防止つまみをずらしておいてください。(→ 98 ページ参照)

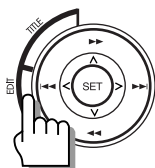
全曲消す (ALL ERASE)

オール イレース

MDに録音されている内容をすべて消して、
ブランクディスクにします。



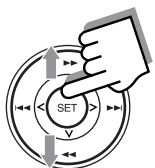
1 EDIT を押す



3 SET を押す

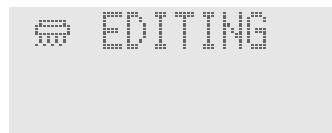


2 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し、ALL ERASE を選ぶ



4 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」を表示します。



➡ **67** ページへ続く

5 ▲を押してMDを取り出す

MDが出てくる前に編集した内容をMDに記録します。

MDに記録中はディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。

全曲の消去が終了すると「BLANK DISC」を表示します。

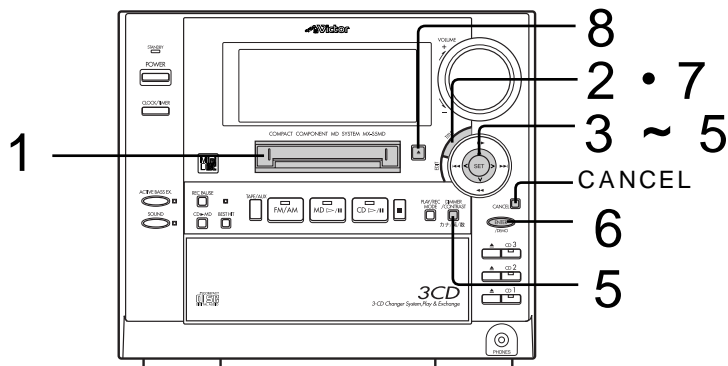


- MDに編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 途中で止めるときは、EDITを押します。

ご注意：一度消した曲はもどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみをずらしておいてください。(➡ 98 ページ参照)

タイトルをつける (本体)

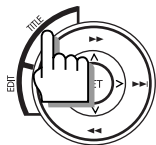
録音をしたあとまたは録音しながらMDに、ディスクタイトルと指定した曲に曲タイトルをつけることができます。本体を使ったタイトルのつけ方を説明します。



1 録音した MD を入れる

2 TITLE を押す

「MD TITLE」をパノラマ表示してから、タイトル入力表示に変わります。

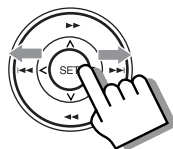


点滅

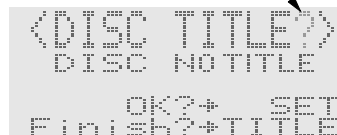


タイトル入力表示

3 ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押してタイトルをつける曲 (ディスク) を選ぶ



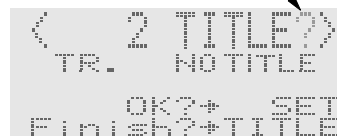
例：ディスクタイトルのとき
点滅



ディスクタイトルをつけるときは、◀◀方向に押します。

例：2 曲目を選んだとき

点滅



曲タイトルをつけるときは、▶▶方向に押してタイトルをつける曲を選びます。

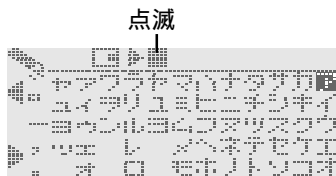
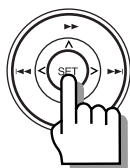


69 ページへ続く

4 SET を押す

タイトル入力画面になります。

例：ディスクタイトルを入力するとき



例：曲タイトルを入力するとき



5 タイトルを入力する

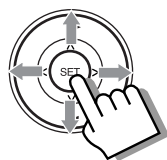
最大 64 文字まで入力することができます。

文字の種類を変える



カナ/英/数ボタンを押します。押すたびにカタカナ入力、英大小文字入力、数字/記号入力に変わります。

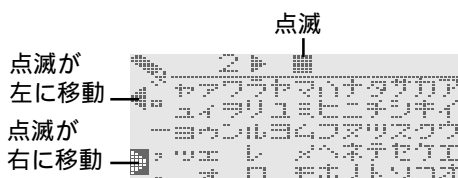
文字を選ぶ



ジョイコントロールを上下左右の方向に押して入力する文字を反転させてから、SET を押します。スペースは空白部分を選んでから、SET を押します。文字を間違えたときは、CANCEL を押します。

文字の入る位置を移動する

ディスプレイ左端にある ▶ (右に移動) または ◀ (左に移動) をジョイコントロールで選んでから SET を押します。



6 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」が表示されます。曲(ディスク)のタイトル入力を終了し、次の曲番号が表示されます。



- ・ 続けてタイトルを入力するときは、**操作 4. ~ 操作 6.** をくり返します。

演奏中に曲タイトルを入力しているとき

- ・ ENTER を押すまでその曲をくり返し演奏します。
- ・ ENTER を押すと、次の曲があるときは、次の曲を演奏します。次の曲が無いときは、最後の曲をくり返し演奏します。

演奏中にディスクタイトルを入力しているとき

- ・ ENTER を押すまでMD全曲をくり返し演奏します。ENTER を押すと1曲目をくり返し演奏します。

録音中に曲タイトルを入力しているとき

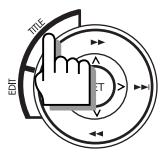
- ・ タイトル入力が終了してENTERを押しても録音を続けます。
- ・ タイトルを入力中に次の曲の録音が始まってても継続してタイトルを入力することができます。
- ・ タイトルの入力が終了してENTER を押すと、TITLE を押したときの曲にタイトルをつけます。
- ・ CDシンクロ録音とベストヒット録音のときは、**タイトルリザーブ機能** (⇒ 70 ページ参照) によって15曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます。
- ・ 録音が終了するまでにENTER を押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。



タイトルをつける (本体、つづき)

7 TITLE を押す

タイトル入力を終了します。初期画面に戻ります。



- ENTER を押してもタイトル入力を終了して、初期画面に戻ります。

8 ▲ を押して MD を取り出す

MD が出てくる前に、編集した内容を MD に記録します。

MD に記録中は、ディスプレイに「WRITING」を点滅表示します。



- MD に編集内容を記録中は振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 途中で止めるときは、TITLE を押します。
- 一度記憶したタイトルを変更することもできます。操作 1. から同様の操作をします。
- タイトルを消すときは、消したいタイトルを選んでから、CANCEL を押して文字を消していきます。

タイトルリザーブ機能について

CD シンクロ録音またはベストヒット録音中に、曲のタイトルを事前に 15 曲分まで入力できます。例えば 1 曲目を録音中、2 ~ 16 曲までのこれから録音する曲のタイトルを事前に入力できます。ただし録音する曲より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。

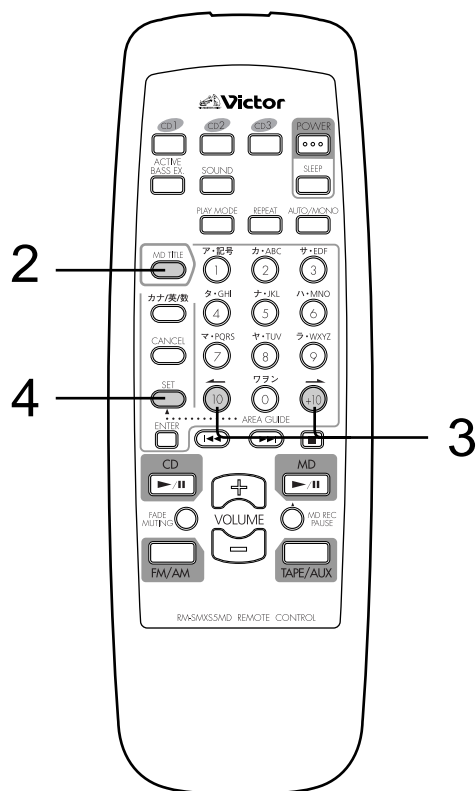
お知らせ

- 再生専用 MD で「タイトルをつける」の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 本体を使ってタイトル入力をしているときは、リモコンを使ったタイトル入力操作をすることはできません。操作をすると、ディスプレイに「NO OPERATION!」が表示されます。

タイトルをつける (リモコン)

録音をしたあとまたは録音しながら MD にディスクタイトルと指定した曲に曲タイトルをつけることができます。

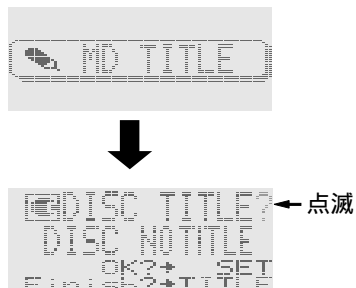
リモコンを使ったタイトルのつけ方を説明します。



1 録音した MD を入れる

2 MD TITLE を押す

数字キーがタイトル入力モードになります。



3 ⑩ または ⑩+ を押してタイトルをつける曲またはディスクを選ぶ

ディスクタイトルをつけるときは、⑩ を押します。

例：ディスクタイトルのとき

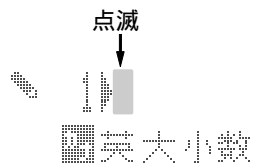


曲タイトルをつけるときは、⑩+ を押してタイトルをつける曲を選びます。

例：2 曲目を選んだとき



4 SET を押す



72 ページへ続く

お知らせ

・リモコンでタイトル入力をしているときは、本体を使ったタイトル入力操作はできません。操作をすると、ディスプレイに「NO OPERATION！」が表示されます。

・リモコンの MD TITLE を押したあとに、数字キー（1～10、+10）を押しても「NO OPERATION！」が表示されて、操作することができません。

リモコンの CD▶/|| または MD▶/|| または FM/AM を押して、聞きたいソースにしてから数字キーを操作してください。

タイトルをつける (リモコン、つづき)

5 タイトルを入力する

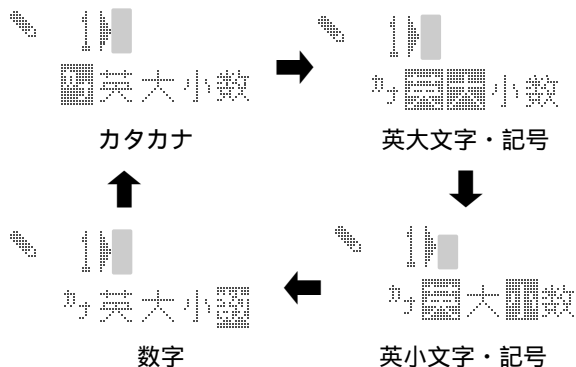
最大 64 文字まで入力することができます。

文字の入力方法

カタカナ入力

- 5-1. 文字の種類を選ぶときは、カナ / 英 / 数ボタンを押す

押すたびに入力する文字の種類が変わります。



- 5-2. 文字を選ぶときは、数字キーを押す

1 ~ 9 : ア行からラ行までが割り当ててあります。

0 : ワ行と「`、`、°」が割り当ててあります。

例: メを入力するときは を 4 回押します。



英大文字・英小文字入力

ボタンの上に印刷してある文字を入力します。

記号は にあります。

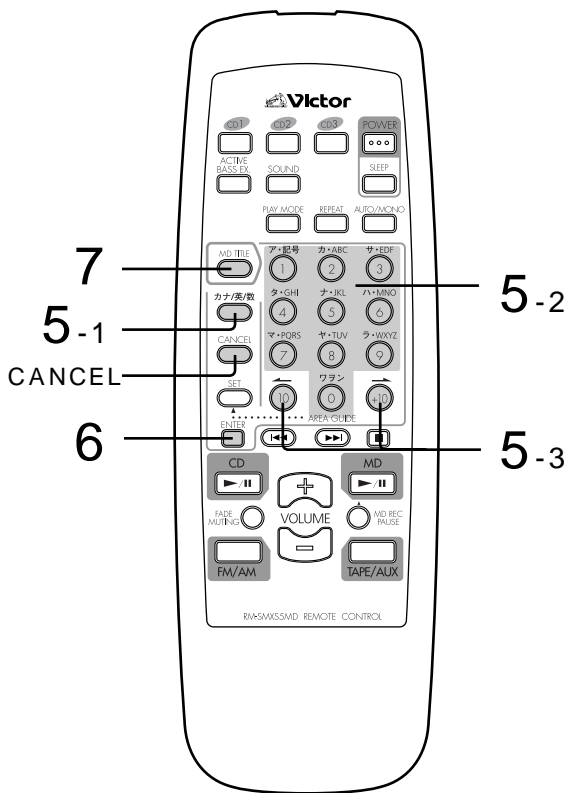
例: Kを入力するときは を 2 回押します。

- 5-3. 文字の入る場所を移動する

または を押します。

必要に応じて上記の操作をくり返します。

- 文字を間違えたときは、CANCEL を押します。



6 ENTER を押す

ディスプレイに「EDITING」を表示します。
曲(ディスク)のタイトル入力を終了し、次の曲
番号を表示します。



- 続けてタイトルを入力するときは、操作 4.
~操作 6. をくり返します。

7 MD TITLE を押す

タイトル入力を終了します。初期画面に戻ります。
• ENTERを押しても終了し、初期画面に戻り
ます。

8 本体の▲を押してMDを取り出す

MDが出てくる前に編集した内容をMDに記録
します。
MDに記録中はディスプレイに「WRITING」を
点滅表示します。



- MDに編集内容を記録中は振動を与えないよ
うに注意してください。演奏できなくなるお
それがあります。
- 一度記憶したタイトルを変更することもでき
ます。操作 1. から同様の操作をします。

リモコンタイトル入力文字対応表

ボタン	数字	カ ナ	英大	英小
ア・記号 ①	1	アイウエオアイウエオ	記号*	記号*
カ・ABC ②	2	カキクケコ	ABC	abc
サ・EDF ③	3	サシスセソ	DEF	def
タ・GHI ④	4	タチツテトツ	GHI	ghi
ナ・JKL ⑤	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
ハ・MNO ⑥	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
マ・PQRS ⑦	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
ヤ・TUV ⑧	8	ヤユヨヤユヨ	TUV	tuv
ラ・WXYZ ⑨	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
フオン ⑩	0	ワヲン ` ー °		

*記号で表示するキャラクター

□(スペース)	!	"	#	\$	%	&
'	()	*	+	,	-	.
;	<	=	>	?	@	_

タイマー

本機には3種類のタイマーがあります。

SLEEP タイマー（おやすみタイマー 75 ページ）

音楽を聞きながら眠りたいときに使います。

- 電源を「切」状態にする時間を設定し、設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

DAILY タイマー（目覚ましタイマー 76 ページ）

目覚ましとして毎日同じ時刻に動作するタイマーです。

- 開始時刻（電源が「入」になる時刻）終了時刻（電源が「切」になる時刻）聞きたいソース、音量を設定します。タイマーが動作を始めるときに音量を徐々に上げているフェード機能もついています。

REC タイマー（録音タイマー 79 ページ）

留守中などラジオ番組やAUXデジタル入力端子またはTAPE端子に接続した機器の留守録音をするタイマーです。設定後1回だけ動作します。

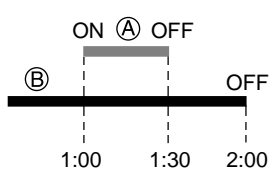
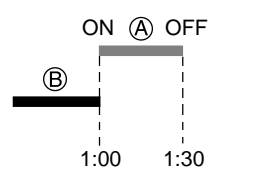
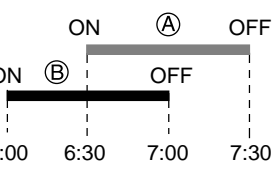
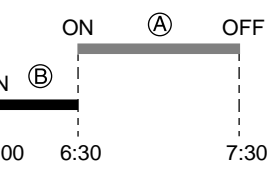
- 録音開始時刻（電源が「入」になる時刻）終了時刻（電源が「切」になる時刻）録音する放送局または録音する機器を設定します。

RECタイマーを使って接続した機器の音を予約録音するときは、タイマー機能のある機器をAUXデジタル入力端子やTAPE端子に接続してください。

- タイマーの設定をする前に必ず時計を合わせておいてください。
- 設定したタイマーの内容は再度設定しない限り記憶されています。
- 電源プラグが抜いてあったときや停電のときはタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときはもう一度時計とタイマーを設定してください。

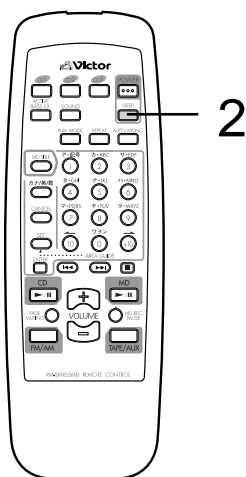
タイマーが重なったときは

タイマーを同時刻に設定してしまったとき、本機のタイマーは次のような動作をします。

	設 定	実 際 の 動 作
例1	<p>REC タイマー</p> <p>SLEEP タイマー</p> 	<p>REC タイマーが優先します。</p>  <p>REC タイマーがONになる直前の20秒間は音が途切れます。</p>
例2	<p>REC タイマー</p> <p>DAILY タイマー</p> 	<p>REC タイマーが優先します。</p>  <p>REC タイマーがONになる直前の20秒間は音が途切れます。</p>

SLEEP タイマー (おやすみタイマー)

リモコンを使って設定します。
おやすみタイマーの設定をする前に必ず時計を
合わせておいてください。

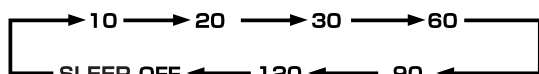


1 ソースを演奏状態にする

2 SLEEP を押して時間を設定する



SLEEP を押すたびに、スリープ時間が次のように
変わります。



- SLEEP タイマーを設定すると、ディスプレイの明るさがディマー(うす明るい)になります。

設定した時間が経過すると、自動的に電源が
「切」になります。

設定したスリープ時間を変更するときは

SLEEP タイマー設定後に SLEEP を 1 回押すと残り
時間を表示します。

設定を変更するときは、SLEEP を押して希望の時間
に変えます。

SLEEP タイマーの解除

SLEEP タイマー設定後に SLEEP を押していき設定
時間を「SLEEP OFF」にします。SLEEP タイマー
が解除されます。

POWER を押して電源を「切」にしたとき、または
CLOCK/TIMER を押したときに解除されます。

SLEEP タイマーでおやすみになり DAILY タイマーで目覚めるには

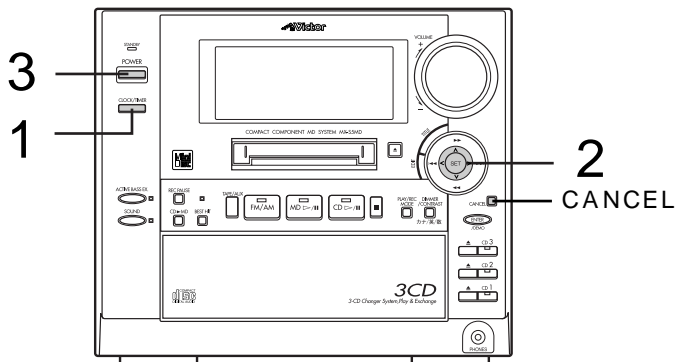
1. DAILY タイマーを設定する (⇒ 76 ~ 78 ページ
参照)
2. 聞きたいソースを演奏状態にする
3. SLEEP を押して時間を設定する
 - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」に
なり、DAILY タイマーの開始時刻で電源が「入」
になります。

お知らせ

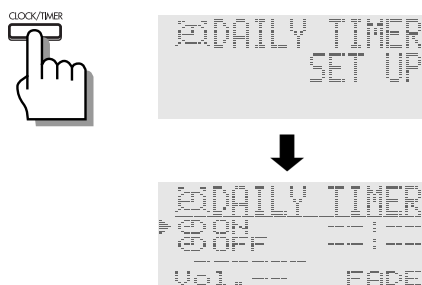
REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タ
イマー動作中に REC タイマーの開始時刻にな
ると REC タイマーに切り替わります。

DAILY タイマー（目覚ましタイマー）

電源が「入」のときでも「切」のときでも DAILY タイマーの設定をすることができます。
タイマーの設定をする前に必ず時計を合わせておいてください。合わせてないと DAILY タイマーの設定はできません。



1 CLOCK/TIMER を 2 回押す （DAILY TIMER SET UP にする）



CLOCK/TIMER を押すたびに次のように変わります。

DAILY TIMER ON/OFF

DAILY TIMER SET UP

REC TIMER ON/OFF

REC TIMER SET UP

CLOCK SET（時刻設定の表示）

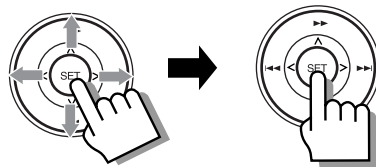
設定前のソース表示

2 タイマーの設定をする

ジョイコントロールとSETを使って設定していきます。

具体的な設定方法は、77 ページからご覧ください。
設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押します。一つ前の設定に戻ります。

- 一度設定するとDAILYタイマーを解除するまで、毎日同じ時刻にタイマー動作を始めます。タイマー終了の時刻になると電源が自動的に「切」になります。



77 ページへ続く

2-1. 開始時刻の設定

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして「時」を選んでからSETを押します。次に▶▶Iまたは◀◀方向に押しして「分」を選んでからSETを押します。

例：開始時刻を午前7時30分に設定しています。

▶◀ ON 7:30

2-2. 終了時刻の設定

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして「時」を選んでからSETを押します。次に▶▶Iまたは◀◀方向に押しして「分」を選んでからSETを押します。

例：終了時刻を午前8時00分に設定しています。

▶◀ OFF 8:30

2-3. 聞きたいソースの設定

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして、「- - - - -」
FM、AM、CD、MD、TAPE、AUX DIGITAL
から選ぶ

SETを押す

「- - - - -」を選んだとき：

電源を「切」にしたときのソースが選ばれます。

FMまたはAM 放送を選んだとき：

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして記憶してある放送局の番号を選んでからSETを押します。SETを押したあとは2-4.に進みます。

- 放送局を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にしたときの放送局を選びます。

CDを選んだとき：

(あらかじめCDトレイにCDを入れておきます。)

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして聞きたいCD番号を選んでからSETを押す

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして聞きたい曲番号を選んでからSETを押す

SETを押したあとは2-4.に進みます。

- CD番号を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にしたときに選ばれているCDを演奏します。
- 曲番号を選ばずにSETを押すと、選ばれているCD番号の1曲目から演奏を始めます。

MDを選んだとき：

(あらかじめMDを入れておきます。)

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして聞きたい曲番号を選んでからSETを押します。SETを押したあとは、2-4.に進みます。

- 曲番号を選ばずにSETを押すと、MDの1曲目から演奏を始めます。

TAPEを選んだとき：

「TAPE」を選んでSETを押したあとは2-4.に進みます。

- タイマー機能付きの機器をご使用ください。

AUX DIGITALを選んだとき：

「AUX DIGITAL」を選んでからSETを押したあとは2-4.に進みます。

- タイマー機能付きの機器をご使用ください。

2-4. 音量とフェードの設定

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして音量を選ぶ
音量は0～50まで選ぶことができます。

- 電源が「入」のときに、「Vol.-」に設定すると、SETを押したときに聞いていた音量に設定されます。

電源が「切」のときは、「Vol.-」は設定することができません。必ず0～50に音量を選んで設定してください。

▶▶Iまたは◀◀方向に押しして「FADE」または「NoFADE」を選ぶ

FADE： 開始時刻になったとき、設定した音量まで徐々に上げていきます。

NoFADE： 開始時刻になったとき、設定した音量で鳴らします。

SETを押す

SETを押すとDAILYタイマーの設定が終了します。

▶▶I 78 ページへ続く

DAILY タイマー（目覚ましタイマー、つづき）

3 POWERを押して電源を「切」にする
電源を「入」にしてDAILYタイマーの設定を行っていたときは、POWERを押して電源を「切」にします。

ディスプレイに⓪とDAILYが表示されていることを確認してください。

- ・ タイマーの開始時刻になるとDAILYタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。

ご注意：CDまたはMDを選んだとき、DAILYタイマーでプログラム演奏をすることはできません。

DAILY タイマーの解除と再設定

DAILY タイマーの設定内容は記憶されています。設定内容は変えずにタイマーを動作させたくないときは「解除」に、タイマー動作を復帰させたいときは「再設定」をします。

「解除」(休日前夜など)

CLOCK/TIMERを1回押して「DAILY TIMER ON/OFF」を表示させ、▶▶または◀◀方向に押して「OFF」を選んでからSETを押します。⓪と「DAILY」が消灯します。



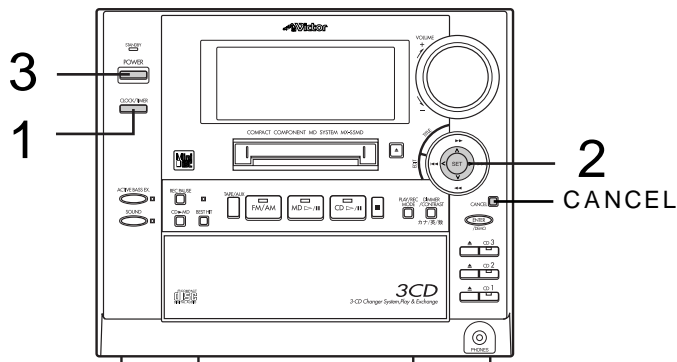
「再設定」(出勤・登校の前夜など)

CLOCK/TIMERを1回押して「DAILY TIMER ON/OFF」を表示させ、▶▶または◀◀方向に押して「ON」を選んでからSETを押します。⓪と「DAILY」が表示され、設定内容を4秒間表示します。

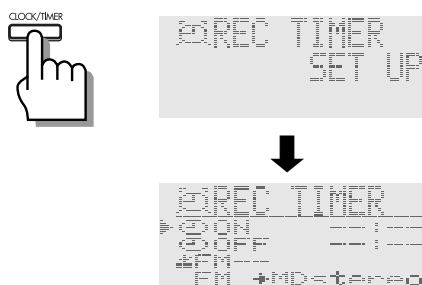


REC タイマー (録音タイマー)

電源が「入」のときでも「切」のときでも REC タイマーの設定をすることができます。
タイマーの設定をする前に必ず時計を合わせておいてください。合わせていないと、REC タイマーの設定はできません。



1 CLOCK/TIMER を 4 回押す (REC TIMER SET UP にする)



CLOCK/TIMER を押すたびに次のように変わります。

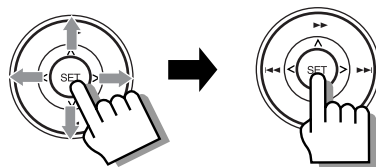
- DAILY TIMER ON/OFF
- DAILY TIMER SET UP
- REC TIMER ON/OFF
- REC TIMER SET UP**
- CLOCK SET (時刻設定の表示)
- 設定前のソース表示

2 タイマーの設定をする

ジョイコントロールと SET を使って設定していきます。

具体的な設定方法は、**80** ページからご覧ください。設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押しします。一つ前の設定に戻ります。

- 録音用の MD (ミニディスク) を忘れずに入れておきます。
- REC タイマーで録音中は自動的に音量を 0 にします。



80 ページへ続く

REC タイマー (録音タイマー、つづき)

2-1. 開始時刻の設定

▶▶IまたはI◀◀方向に押して「時」を選んでから SET を押します。次に ▶▶IまたはI◀◀を押して「分」を選んでから SET を押します。

例：開始時刻を午前 7 時 30 分に設定しています。

▶◀ON 7:30



2-2. 終了時刻の設定

▶▶IまたはI◀◀方向に押して「時」を選んでから SET を押します。次に ▶▶IまたはI◀◀を押して「分」を選んでから SET を押します。

例：終了時刻を午前 8 時 30 分に設定しています。

▶◀OFF 8:30



2-3. 録音するバンドまたはソースの設定

▶▶IまたはI◀◀方向に押して、FM、AM、TAPE、AUX DIGITAL から選ぶ

SET を押す

FM または AM を選んだとき：

▶▶または◀◀方向に押して記憶してある放送局のプリセット番号を選んでから SET を押します。SET を押したあとは 2-4. に進みます。

- ・ 放送局を選ばずに SET を押すと、電源を「切」にしたときの放送局を選びます。

AUX DIGITAL を選んだとき：

「AUX DIGITAL」を選んで SET を押したあとは 3. に進みます。

- ・ タイマー機能付きの機器をご使用ください。

TAPE を選んだとき：

「TAPE」を選んで SET を押したあとは 3. に進みます。

- ・ タイマー機能付きの機器をご使用ください。

2-4. 録音モードの設定

▶▶IまたはI◀◀方向に押して選んでから SET を押します。

「stereo」(ステレオ録音)、「mono」(モノラル録音)から選びます。

録音モードの設定をすると REC タイマーの設定が終了します。

3 POWER を押して電源を「切」にする

ディスプレイに Ⓞ と REC が表示されていることを確認してください。

- ・ タイマーの開始時刻になると REC タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- ・ 録音中の音量は 0 になり、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。

ご注意：AUX デジタル入力端子または TAPE 端子に接続した機器の音を、タイマー録音するときは、タイマー機能付きの機器をご使用ください。

REC タイマーの再設定と解除

REC タイマーは、動作を 1 回行うと解除されますが、設定内容は記憶されています。
設定内容を変えずに次の録音をする時は、REC タイマーの再設定をします。

「再設定」

CLOCK/TIMER を 3 回押して「REC TIMER ON/OFF」を表示させ、▶▶ または ◀◀ 方向に押して「ON」を選んでから SET を押します。Ⓞと「REC」が点灯し、設定内容を 4 秒間表示します。



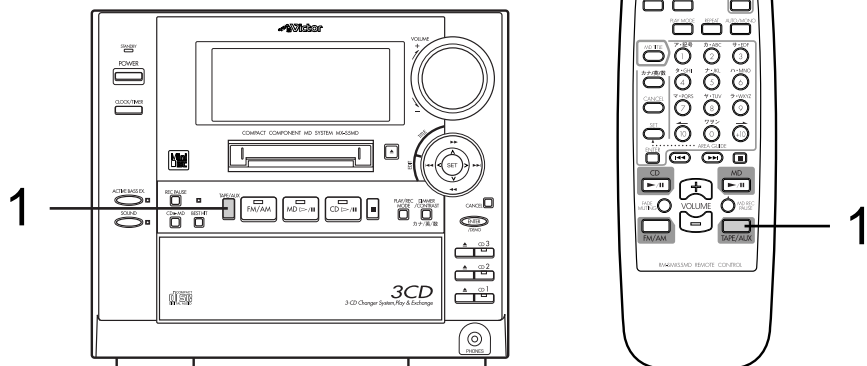
「解除」

CLOCK/TIMER を 3 回押して「REC TIMER ON/OFF」を表示させ、▶▶ または ◀◀ 方向に押して「OFF」を選んでから SET を押します。Ⓞと「REC」が消灯します

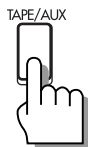


接続した他の機器の音を聞く

TAPE 端子または AUX デジタル入力端子に接続した機器の音を聞きます。本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、BS チューナーや DAT などのデジタル機器に対応しています。



1 TAPE/AUX を押す



本体



リモコン

TAPE/AUX を押すたびに次のように切り替わります。

TAPE ↔ AUX DIGITAL

演奏中の表示

テープまたはAUX DIGITALを演奏中の表示は、停止中 / 演奏中にかかわらず同じ表示をします。

テープの音を聞いているとき：



AUX DIGITAL の音を聞いているとき：

接続している機器のサンプリング周波数によって次のように表示します。

サンプリング周波数 32 kHz のとき



サンプリング周波数 44.1 kHz のとき



サンプリング周波数 48 kHz のとき



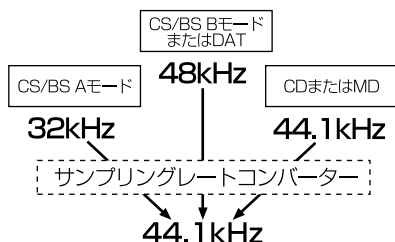
2 接続した機器を演奏状態にする

本機のアンプ機能を使って音量の調節などをします。

- ・ 正しく接続されていることを確認してください。

デジタル機器の録音について

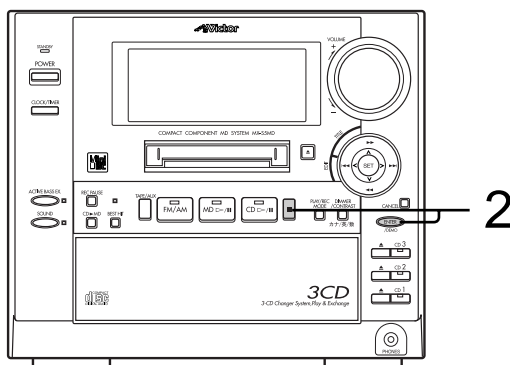
本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。デジタル機器のサンプリング周波数(32kHz、44.1kHz、48kHz)に関係なく録音できます。



ディスプレイモードのバックアップ

通常、電源プラグをコンセントから抜き差しすると、自動的にデモ表示を行います。ディスプレイモードのバックアップ操作を行ってからディスプレイモードの設定をすると、電源プラグの抜き差しをしても設定したディスプレイモードの内容を保持しつづけます。

知
っ
て
お
い
て
ほ
う
じ
や



1 電源プラグをコンセントから抜く

2 ■とENTER/DEMO を押しながら 電源プラグをコンセントに差し込む

「MODE BACK UP」を表示します。



MODE BACK UP

ディスプレイモードのバックアップを解除する

左記と同じ操作をします。「MODE CLEAR!」を表示します。

MODE CLEAR!

電源プラグの抜き差しをするたびに、デモ表示が「オン」の状態になります。

3 スクリーン表示の設定をする

スクリーン表示の設定は [17](#) ページをご覧ください。

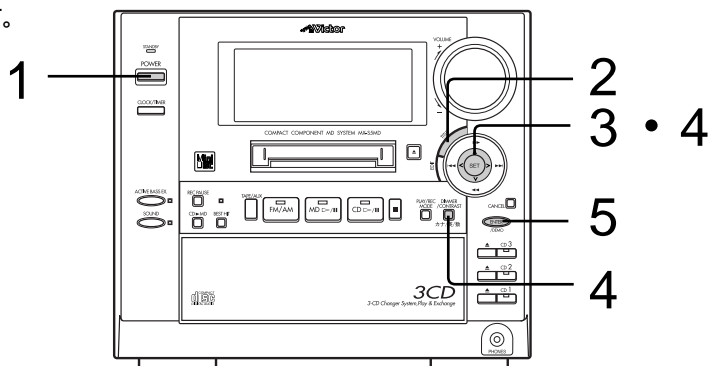
電源プラグの抜き差しをしても、設定した内容が保持されています。

メッセージの登録

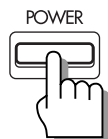
電源「入」のときの「HELLO」アニメーションまたは電源「切」のときの「SEE YOU」アニメーションの代わりにメッセージを登録することができます。

電源「入」のときのオープニングメッセージと電源「切」のときのエンディングメッセージはそれぞれ別々に登録します。

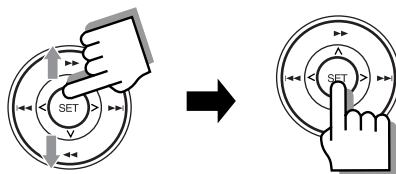
本体を使って操作します。



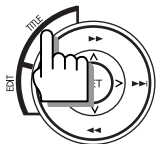
- 1** POWERを押して電源を「切」にする
電源が「入」になっているときは、POWERを押します。



- 3** ジョイコントロールを▶▶または◀◀方向に押し
てオープニングメッセージかエンディングメッセージを
選んでからSETを押す



- 2** 「Startup disp.」を表示するまで
TITLE を押す（約 2 秒）



オープニングメッセージを登録するときは、「Power on」を選びます。



エンディングメッセージを登録するときは、「Power off」を選びます。



➡ **85** ページへ続く

4 メッセージを入力する

最大 39 文字まで入力できます。
MDタイトル入力と同じ方法でメッセージを入力します。

入力方法

ジョイコントロールを使って文字を選んでから SET を押します。

文字を間違えたときは、CANCEL を押します。
文字種を変えるときは、カナ / 英 / 数ボタンを押します。

詳しい方法は「タイトルをつける」[69](#) ページをご覧ください。

- メッセージの入力には本体を使います。リモコンを使うことはできません。

5 ENTER を押す

入力したメッセージを表示してから、時計表示に戻ります。



電源「入」または「切」のたびに登録したメッセージをアニメーションの代わりにディスプレイに表示します。

メッセージ表示をアニメーション表示に戻す

オープニングメッセージ、エンディングメッセージをアニメーション表示に戻すときは、リセットの操作をします。

1. 電源を「切」にする
電源が「入」になっているときは、POWER を押します。
2. 「Startup disp.」を表示するまでTITLE を押す (約 2 秒)
3. ジョイコントロールを ▶▶ または ◀◀ 方向に押して「Reset」を選んでから SET を押す
電源「入」「切」のときが「HELLO」アニメーションと「SEE YOU」アニメーション表示に戻ります。



- 「Reset」を選ぶと登録したオープニングメッセージとエンディングメッセージがアニメーション表示に戻ります。オープニングメッセージだけ、または、エンディングメッセージだけをアニメーション表示に戻すことはできません。

AM エリアガイド表

AMエリアガイド放送局一覧(エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます)

周波数単位: kHz

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよくなる代表都市名	プリセットされた放送局の周波数(Pはプリセットのことで)							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
011, 0121 ~ 0129 0130 ~ 0136 0140 ~ 0149	北海道	札幌	NHK第1 567	NHK第2 747	H B C 801	H B C 864	NHK第1 945	NHK第2 1125	H B C 1287	S T V 1440
0150 ~ 0152 0157 ~ 0159	北海道	網走 北見	NHK第2 702	NHK第2 747	H B C 801	S T V 909	NHK第1 1188	H B C 1449	S T V 1485	NHK第1 1584
0153 ~ 0156	北海道	釧路	NHK第1 585	NHK第1 603	S T V 882	STV 1071	NHK第2 1125	NHK第2 1152	H B C 1269	H B C 1404
0137 ~ 0139	北海道	函館	NHK第1 567	STV 639	NHK第1 675	NHK第2 747	S T V 882	H B C 900	H B C 1269	NHK第2 1467
0160 ~ 0169	北海道	旭川	NHK第1 621	NHK第2 747	NHK第1 792	NHK第1 837	H B C 864	NHK第1 927	S T V 1197	NHK第2 1602
0172 ~ 0179	青森	青森	NHK第2 774	NHK第1 963	NHK第1 999	R A B 1233	R A B 1485	*	*	*
018 0182 ~ 0189	秋田	秋田	NHK第2 774	A B S 936	NHK第1 1503	*	*	*	*	*
019 0191 ~ 0199	岩手	盛岡	NHK第1 531	I B C 684	NHK第2 774	NHK第2 1386	*	*	*	*
022 0220 ~ 0229	宮城	仙台	NHK第1 891	NHK第2 1089	T B C 1260	*	*	*	*	*
023 0233 ~ 0239	山形	山形	NHK第1 540	NHK第2 774	Y B C 918	NHK第1 1368	*	*	*	*
024 0240 ~ 0249	福島	郡山	NHK第2 693	NHK第1 846	R F C 1098	R F C 1458	*	*	*	*
025 0250 ~ 0259	新潟	新潟	NHK第1 792	NHK第1 837	B S N 1062	B S N 1116	B S N 1530	NHK第2 1593	*	*
026 0260 ~ 0269	長野	長野	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 693	NHK第1 819	S B C 864	S B C 1098	*	*
027 0270 ~ 0279	群馬	前橋	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*	*
028 0281 ~ 0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	C R T 1530	*	*
0280, 029 0291 ~ 0299	茨城	水戸	NHK第1 594	NHK第2 693	T B S 954	ブンカ 1134	I B S 1197	ニッポン 1242	I B S 1458	*
03, 042 ~ 045, 047 048, 0421 ~ 0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK第1 594	NHK第2 693	A F N 810	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	ラジオニホン 1422	*
052, 0521 ~ 0529 0531 ~ 0536	愛知	名古屋	NHK第1 729	NHK第2 909	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	S B S 1404	G I F U 1431	*	*
053, 054 0537 ~ 0549	静岡	静岡	NHK第2 639	NHK第1 882	S B S 1404	*	*	*	*	*
055 0551 ~ 0557	山梨	甲府	NHK第2 693	Y B S 765	NHK第1 927	T B S 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*
0550 0558 ~ 0559	静岡	沼津	NHK第2 639	NHK第1 882	S B S 1404	S B S 1557	*	*	*	*
056 0561 ~ 0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK第1 729	NHK第1 792	NHK第2 909	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	G I F U 1431	*	*
059 0592 ~ 0599	三重	津	NHK第1 729	NHK第2 828	C B C 1053	トウカイラジオ 1332	*	*	*	*
06 0720 ~ 0729	大阪	大阪	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	OSAKA 1314	*
0734 ~ 0739	和歌山	和歌山	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	M B S 1179	OSAKA 1314	W B S 1431	*	*

本機はAM放送を15局までメモリ - できますが、*印の欄 および P-9 ~ P-15 には放送局がメモリ - されておられません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。

近隣の AM 放送の方がうまく受信できる場合は、AREA GUIDEを押したあと聞きたい放送の地域の市外局番を入力し、SET を押してください。

AM エリアガイド表

AMエリアガイド放送局一覧（エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます）

周波数単位：kHz

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよくなる代表都市名	プリセットされた放送局の周波数（Pはプリセットのことです）							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
075 0740～0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
076 0761～0762	石川	金沢	M R O 1107	NHK第1 1224	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
0763～0766	富山	富山	NHK第1 648	K N B 738	NHK第2 1035	*	*	*	*	*
0760 0767～0769	石川	七尾	NHK第1 540	M R O 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
077 0771～0775	京都、滋賀	大津	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	K B S 1215	OSAKA 1314	*
0770 0776～0779	福井	福井	F B C 864	NHK第1 927	NHK第2 1521	*	*	*	*	*
078 0790～0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
082,0823～0826 0828～0829	広島	広島	NHK第2 702	NHK第1 1071	R C C 1350	*	*	*	*	*
0830～0839 0820,0827	山口	山口	NHK第1 675	K R Y 765	K R Y 918	NHK第2 1377	A F N 1575	*	*	*
0840～0849	広島	尾道	NHK第1 999	R C C 1530	NHK第2 1602	*	*	*	*	*
0851～0856	島根	松江	B S S 900	NHK第1 1296	B S S 1431	NHK第2 1593	*	*	*	*
0857～0859	鳥取	米子	B S S 900	NHK第1 963	NHK第2 1125	NHK第1 1368	B S S 1431	*	*	*
086 0861～0869	岡山、広島	岡山	NHK第1 603	NHK第2 1386	R S K 1494	*	*	*	*	*
087 0875～0879	香川	高松	NHK第2 828	NHK第2 1035	NHK第1 1368	R N C 1449	*	*	*	*
0883～0886	徳島	徳島	NHK第2 828	NHK第1 945	J R T 1269	*	*	*	*	*
0880 0887～0889	高知	高知	R K C 900	NHK第1 990	NHK第1 999	NHK第2 1152	R K C 1197	*	*	*
089 0891～0899	愛媛	松山	NHK第1 846	NHK第1 963	Nancy16 1116	NHK第2 1512	*	*	*	*
092,093 0930,0940～0949	福岡 長崎	福岡	NHK第1 612	NHK第2 1017	R K B 1278	K B C 1413	*	*	*	*
0951～0955	佐賀	佐賀	NHK第1 612	NHK第2 873	NHK第1 963	R K B 1278	K B C 1413	N B C 1458	*	*
095,0920,0950 0956～0959	長崎	長崎	NHK第1 684	NHK第2 873	NHK第1 981	N B C 1098	N B C 1233	*	*	*
096 0964～0969	熊本	熊本	NHK第1 756	NHK第1 846	NHK第2 873	R K K 1197	NHK第1 1341	*	*	*
097 0972～0979	大分	大分	NHK第1 639	NHK第2 873	O B S 1098	*	*	*	*	*
0981～0987	宮崎	宮崎	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 873	M R T 936	O B S 1098	NHK第2 1467	*	*
098,0980 0988～0989	沖縄	那覇	NHK第1 540	NHK第1 549	A F N 648	R B C 738	R O K 864	NHK第2 1125	*	*
099 0991～0999	鹿児島	鹿児島	NHK第1 576	NHK第1 792	M B C 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*

市外局番が変更になった地域は、変更前の市外局番を入力してください。また、市外局番が5ケタまたは6ケタの地域は、頭から4ケタを入力してください。

知っておいってほじこじや

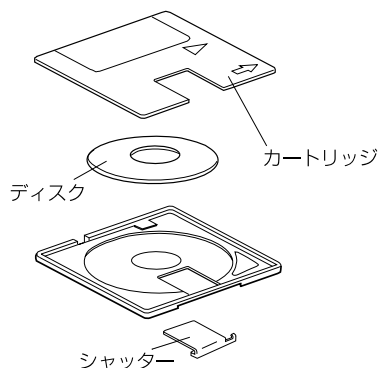
MD について

MD (ミニディスク) は直径 64mm のディスクを使った新しいデジタルオーディオで、小さくても多機能、高音質で、MD-80 使用のとき最大 80 分のステレオ録音 / 再生ができます。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68 × 72mm、厚さ 5mm のポケットサイズ、この中に直径 64 mm のディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。

また、中のディスクは、カートリッジ部及びシャッターが閉じて保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。



2 種類のディスク

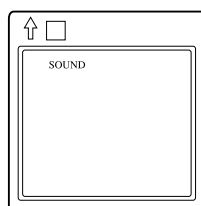
MD (ミニディスク) には、録音できる「録音用 MD」と再生のみできる「再生専用 MD」の 2 種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

再生専用 MD

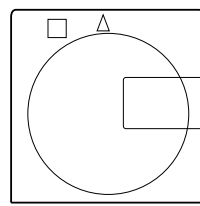
市販の MD (ミニディスク) ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD 同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

録音用 MD (ミニディスク) で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気 (MO : Magneto-Optical) ディスク」と呼びます。



再生専用 MD



録音用 MD

アダプティブ

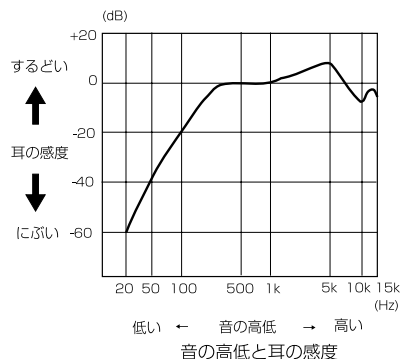
トランスフォーム

アコースティック

コーディング

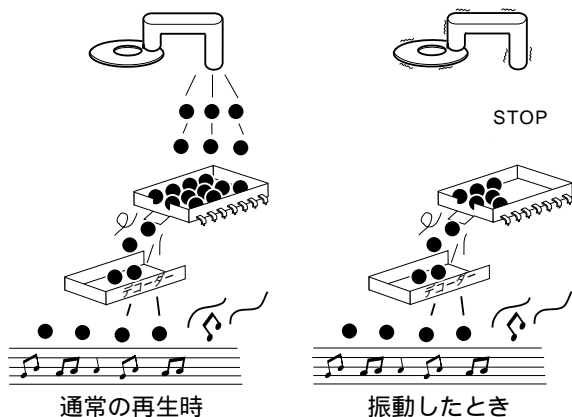
ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)

MD (ミニディスク) は、従来の CD の約半分のサイズですが同じ時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術 (ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術 (ATRAC)」とは、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。この技術により記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることで、最大 80 分のステレオ録音 / 再生を可能にしました。



音飛びガードメモリー

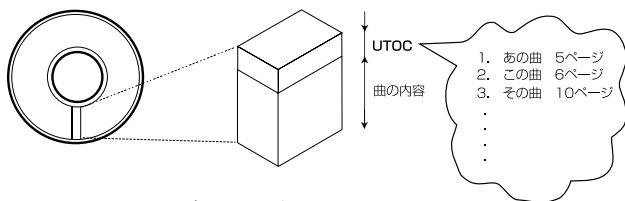
MD (ミニディスク) を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能を「音飛びガードメモリー」と呼びます。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。



ユーザー テーブル オブ コンテンツ

UTOC (User Table Of Contents)

録音用 MD (ミニディスク) には、曲の内容とは別に、「目次 (UTOC)」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次 (UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。



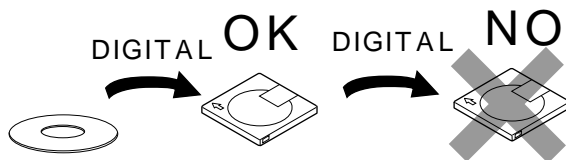
デジタル録音のきまり (S C M S)

デジタルオーディオとは、デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするオーディオ機器で、CD (コンパクトディスク)、MD (ミニディスク)、DAT (デジタルオーディオテープ) などがあります。これらの機器は音楽信号をほとんど劣化することなく録音 (コピー) ができます。このために、著作権を保護するコピー規制が必要になり、この決まりが SCMS です。

シリアル コピー マネージメント システム

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。



ご注意
この規定により、本機でデジタル録音した MD は、他の機器でデジタル録音することはできません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336 (代)

MD のメッセージ

本機のディスプレイに表示するメッセージには次のような意味があります。

メッセージ	意味	処置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDに取り換えてください。
CANNOT JOIN	ジョインできない曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。 「 ➡ 91 ページ参照 」
DISC ERROR	MDが異常 (損傷している)。	MDを取り換える。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ ボタンを押していったん停止してから、▲ (MD取り出し) ボタンを押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVDやCD-ROM (ビデオCDなど) をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらす。(孔の閉じた状態) 「 ➡ 98 ページ参照 」
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音したMDのコピーのコピーを作ろうとした。	アナログ入力を使って録音します。
DIGITAL IN UNLOCK	AUXデジタル入力端子がソース機器と接続されていない。	ソース機器を正しく接続する。

MD の制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。この MD の記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。

知
っ
て
お
い
て
ほ
う
に
し
よ

症 状	原 因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。曲番号が255以上になる録音はできません。 (最大録音曲数は254曲)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下の部分ができると、その曲は、「JOIN 機能」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	

故障かな？と思う前に

故障かなと思ったら・・・修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症状	原因	処置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧ください、正しく接続し直してください。	12、13
MDに録音できない。	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを録音可能状態にする。	98
放送が雑音で聞き苦しい。	AMル-ブアンテナが本体に近づいている。	AMル-ブアンテナの位置と向きを変えてください。	12
	アンテナが束ねたままになっている。	最も受信状態の良い向きに、ピンとはってお使いください。	
リモコン操作ができない。 本体に近づけないと操作できない。	リモコン受光部との間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	11
	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	
CDの音が途切れる。	CDに傷・汚れなどがある。	CDをクリーニングしてください。	72
CDが演奏されない。	CDが裏返しになっている。	CDの文字などの印刷面が上になるように、CDトレイに正しくのせてください。	27
CDまたはMDの演奏が始まらない。	レンズに露がついている(結露)。	電源を「入」にしたまま、数時間待ち乾いてから使う。	.
ブーンという雑音ができる。	本機をテレビのすぐそばに設置している。	本機をテレビから離して設置してください。	.
電源「切」のときMDを入れることができない。	バックライトが消灯(省エネモード)になっている。	電源を「入」にしてからMDを入れる。または電源「切」のときDIMMER/CONTRASTを押してディマー(うす明るい)にする。	18

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機は、マイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、ジョイコントロールを操作したり、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源プラグを抜きしばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

省エネモード(18ページ参照)の状態では、POWERを押して電源を「入」したとき、MD部から動作音がします。これは、MD部へ電源を供給するための動作音で、故障ではありません。

ディスプレイに「CAUTION！」を表示したら

ディスプレイに「CAUTION！」を表示したときは、本機に故障が発生しています。電源を「切」にしてから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にて修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から 1 年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または ④ ~ ⑥ ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

④ ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	コンパクトコンポーネントMDシステム
型名	MX-S5MD
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
-----	--

+

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
-----	--

+

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
-----	--

便利メモ	お買い上げ店名	☎ () -
------	---------	---------

お願い

本機の故障または不具合などにより録音、再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


ビクターサービス窓口案内(ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	拠点名	T E L	☎	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-1-1
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0051	土浦市真鍋6-1-25
	水戸S.S.	(029)246-1506	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	T E L	☎	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
【業務用機器専門】のご相談窓口				
首都メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3	
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9(木村ビル)
	小田原S.S.	(0465)24-0681	250-0004	小田原市浜町4-1-12
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府 県名	拠点名	T E L		所 在 地
東 海 ・ 北 陸				
愛 知	名 古 屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三 河 S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊 橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐 阜	岐 阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三 重	三 重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富 山	富 山 S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町211
石 川	金 沢 S.C.	(076)269-4821	921-8662	金沢市新保本4丁目65-14
福 井	福 井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近 畿				
滋 賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋 賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京 都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
京 都	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京 都 S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京 都	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈 良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
大 阪	奈 良 S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
大 阪	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大 阪 南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
和 歌 山	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイッ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業 務 機 器 C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和 歌 山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山 S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田 辺 S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵 庫 部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
兵 庫 部	神 戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明 石 S.S.	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビルF
兵 庫 部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫 路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府 県名	拠点名	T E L		所 在 地
中 国				
岡 山	岡 山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広 島	広 島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福 山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山 口	山 口 S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-2-8
	徳 山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下 関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四 国				
香 川	高 松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島 S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高 知	高 知 S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	松 山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛 媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九 州 ・ 沖 縄				
福 岡	福 岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久 留 米 S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北 九 州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐 賀	佐 賀 S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長 崎	長 崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大 分	大 分 S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊 本	熊 本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮 崎	宮 崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-5-9
	延 岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町2-4-3
鹿 児 島	鹿 児 島 S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖 縄	沖 縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山 陰				
島 根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥 取	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

0399

略号について S.C.はサービスセンターの略称です。

S.S.はサービスステーションの略称です。

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MD/CDレシーバー (CA-MXS5MD)

アンプ部

回路方式 : 差動入力コンプリメンタリーOCL
実用最大出力 : 25W + 25W (EIAJ/6)
入力端子 : <アナログ>
TAPE × 1 系統、480mV/47k (INPUT Level 1)
190mV/47k (INPUT Level 2)
<デジタル>
AUX デジタル入力 × 1、-23dBm ~ -15dBm
(光角型ジャック)
(サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHz に
対応)
出力端子 : <アナログ>
TAPE × 1 系統、160mV/3.9k
スピーカー端子 × 1 系統、
適合インピーダンス 6 ~ 16

チューナー部

受信周波数 FM : 76.0MHz ~ 108.0MHz
AM : 531kHz ~ 1,629kHz
アンテナ FM : 75 不平衡型
AM : 外部アンテナ端子 (ループアンテナ)

タイマー部

タイマー形式 : 1日2動作 (DAILY、REC)
スリープタイマー : 10、20、30、60、90、120分
時刻表示 : 24時間表示

MDレコーダー部

形式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音再生時間 : 80分 (MD-80使用、ステレオ録音時)
サンプリング周波数 : 44.1kHz
音声圧縮方式 : ATRAC方式
チャンネル数 : 2チャンネル・ステレオまたはモノラル
周波数特性 : 20Hz ~ 20kHz

CDプレーヤー部

形式 : コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数 : 44.1kHz
チャンネル数 : 2チャンネル・ステレオ
周波数特性 : 20Hz ~ 20kHz

共通部

最大外形寸法 : 幅215 × 高さ180 × 奥行346mm
質量 : 約6.4kg

スピーカー (SP-MXS5MD)

スピーカー部

形 式 : 2ウェイバスレフ型
使用スピーカー : 低音用 : 14.5cmコーン型 X 1
 高音用 : 5.0cmコーン型 X 1
定格入力 : 12.5W (JIS)
最大入力 : 50W (JIS)
定格インピーダンス : 6
再生周波数帯域 : 40Hz ~ 20kHz
出力音圧レベル : 84dB/W・m
最大外形寸法 : 幅170×高さ290×奥行203mm
質 量 : 約2.7kg (1本)

コンパクトコンポーネントMDシステム (MX-S5MD)

総合

電源電圧 : AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力 : 66W (電源「入」時)
 11W (電源「切」時、省エネモード オフ時)
 1.4W (電源「切」時、省エネモード オン時)
最大外形寸法 : 幅555×高さ290×奥行346mm
質 量 : 約11.8kg

付属品

AMループアンテナ 1
 FM簡易型アンテナ 1
 リモコン (RM-SMXS5MD) 1
 単3形乾電池 (リモコン動作確認用) 2

- ・EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
- ・本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリ

・CD レンズクリーナー : CL-CDL
 ・MD レンズクリーナー : CL-ML
 ・整合器 : VZ-71A

・別売りアクセサリは、お買い上げの販売店で
お求めください。

CD の取り扱い

ケースから取り出すには

CDをケースから取り出すときにはCDの外側をつかみ、ケースの中心部を押しながら、取り出します。



汚れたときは

指紋やほこりがCDについたときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。中心から外側に向けて拭き取ります。円周に沿った方向では拭かないでください。また、レコード用クリーナーやシンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。



CDを汚さないで

CDにシールを張ったり、汚したりしないでください。特にCDの演奏面(虹色に光っている面)が汚れると再生できなくなる恐れがあります。



CDの保管について

専用のケースに入れ、次のような場所には保管しないでください。

- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 暖房器のそば
- ・ ホコリの多いところ
- ・ 車の中



MD の取り扱い

MD について

いつまでも美しい音を保つために

ディスクそのものはカートリッジに入っていますので、ほこりや汚れを気にせず手軽に取り扱えます。ただし、いつまでも美しい音をお楽しみいただくためには次のことに注意してください。

置き場所に気をつけて

次のようなところには置かないでください。

- ・ 直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
- ・ 湿気やホコリの多いところ
- ・ 海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ

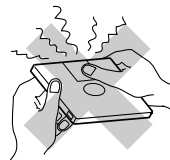
MDが反ったり、汚れなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

シャッターは開けないで

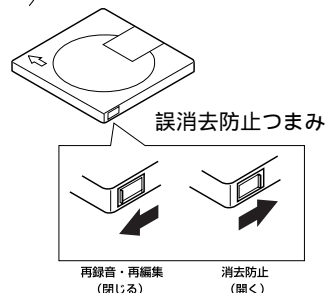
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。



大切な録音を消さないために

録音用 MD には、大切な録音を間違えて消さないための、誤消去防止つまみがついています。

録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をし直すことはできなくなります。録音や編集をし直すときは、閉じた状態に戻してください。



機能索引

はじめに

- リモコンを使ったときの表示
(パノラマ表示)..... 10 ページ
- リモコンの乾電池について..... 11 ページ
- イチ押しボタン..... 14 ページ
- 動作状態表示
(ディスプレイ下側のアニメーション).. 15 ページ
- デモ表示..... 16 ページ
- タイトル入力デモ..... 16 ページ
- スクリーン表示
(DOLPHIN)の時間設定..... 17 ページ
- 省エネモード..... 18 ページ
- ディスプレイコントラストの調節..... 19 ページ

基本操作

- 一時的に消音する..... 21 ページ
- サラウンド効果のあるモードと
ないモード..... 22 ページ

ラジオの操作

- マニュアルチューニングと
オートチューニング..... 24 ページ
- プリセット選局..... 24 ページ
- オート(ステレオ)受信とモノラル受信..... 25 ページ
- 放送局名を MD に記憶する/しない
(NAME CUT)..... 26 ページ
- 本機に記憶できる放送局数..... 27 ページ

CD の操作

- 使用できる CD..... 29 ページ
- CD の演奏順..... 31 ページ
- 演奏中の CD 交換..... 31 ページ
- CD のプログラムを間違えたとき..... 33 ページ
- CD のプログラム内容をすべて削除
するには..... 33 ページ
- CD のプログラム演奏をくり返す..... 33 ページ
- CD のランダム演奏をくり返す..... 35 ページ
- CD トレイ、MD スロットをロックする.. 37 ページ

MD の操作

- MD の挿入方向..... 38 ページ
- MD のプログラムを間違えたとき..... 41 ページ
- MD のプログラムを取り消す..... 41 ページ
- MD のプログラム演奏をくり返す..... 41 ページ
- MD のランダム演奏をくり返す..... 42 ページ

録音

- MD に録音する前の注意..... 45 ページ
- MD のトラックマークについて..... 45 ページ
- CD をプログラムして録音する..... 46 ページ
- CD の 1 曲目を録音する
(ベストヒット録音)..... 47 ページ
- MD の録音モードについて..... 49 ページ
- 録音モードの選び方..... 49 ページ
- テープの入力レベルを切換える..... 49 ページ
- モノラル録音の解除について..... 55 ページ

MD のタイトル入力

- MD 演奏中にタイトル入力しているとき..... 69 ページ
- MD 録音中にタイトル入力しているとき..... 69 ページ
- タイトルリザーブ機能について..... 70 ページ
- リモコンタイトル入力文字対応表..... 73 ページ

タイマー

- タイマーが重なったときは..... 74 ページ
- SLEEP タイマーでおやすみになり、
DAILY タイマーで目覚めるには..... 75 ページ
- DAILY タイマーの解除と再設定..... 78 ページ
- REC タイマーの再設定と解除..... 81 ページ

付録

- 電源プラグを抜き差ししてもデモ表示を
行わないようにする(デモ表示を
しなくする方法)..... 83 ページ
- オープニングとエンディングメッセージ
の登録..... 84 ページ
- 登録したメッセージ表示を
アニメーション表示に戻す..... 85 ページ

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター

東京... ☎(03)5684-9311

〒113-0033

東京都文京区本郷三丁目14番7号ビクター本郷ビル

大阪... ☎(06)6765-4161

〒543-0028

大阪市天王寺区小橋町10番16号大阪ビクタービル

修理などのアフターサービスに関するご相談

☑ ~ ☑ ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください



日本ビクター株式会社

オーディオ事業部

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ ダイヤルイン (027) 254-8952